

<大阪市西区>

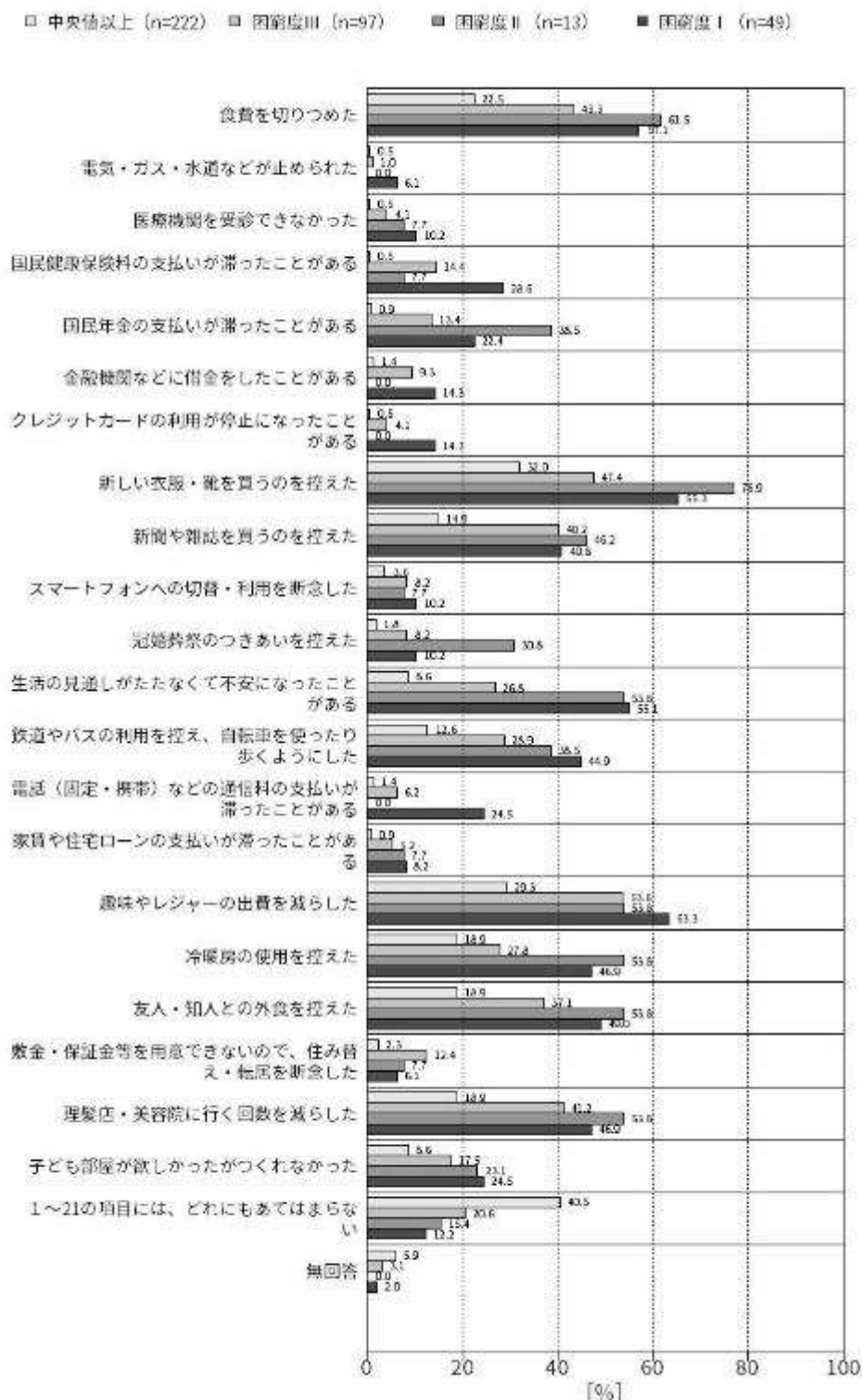


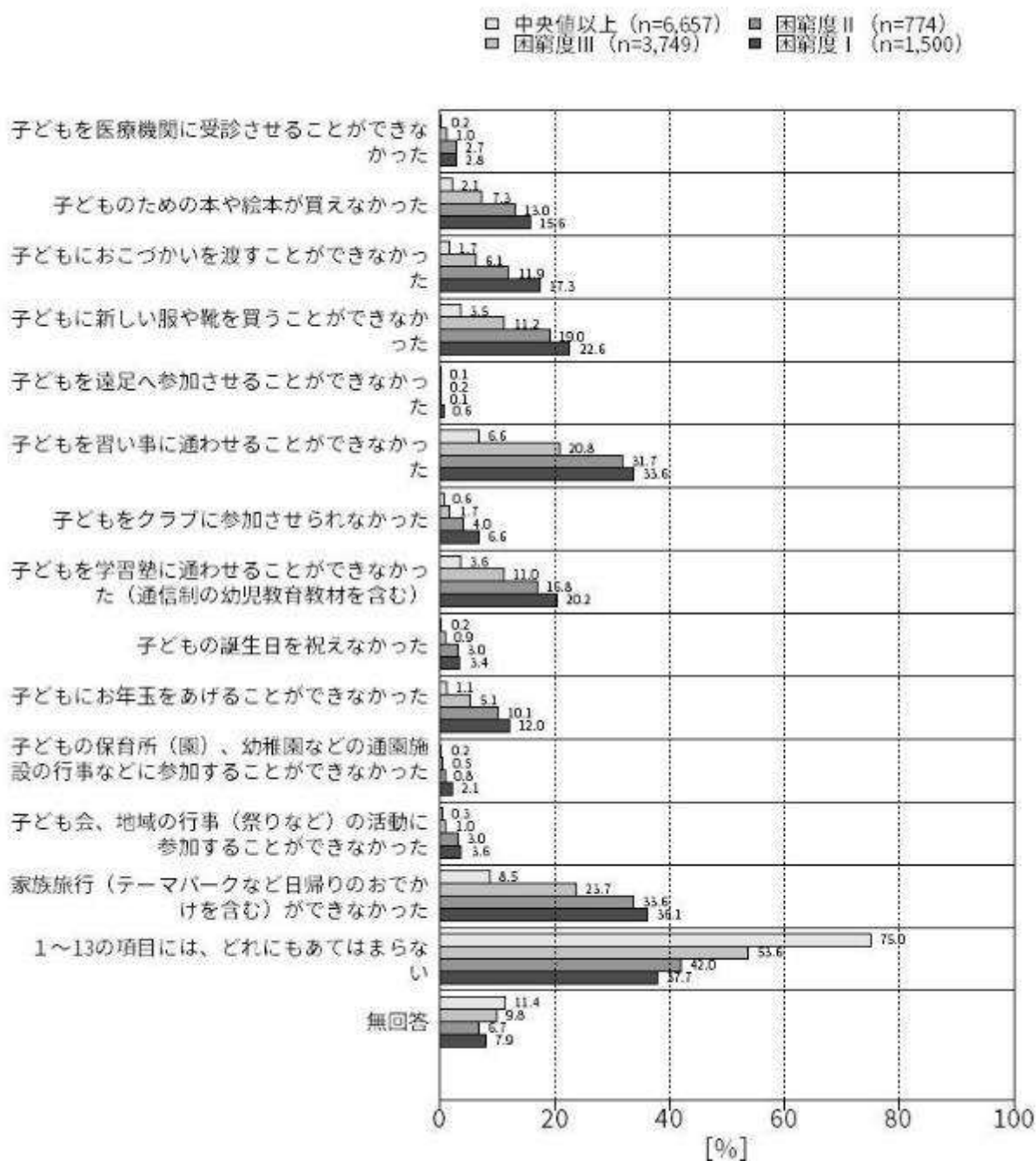
図 60. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度が高まるにつれて、できなかったことが増えていた。また、困窮度Ⅰ群では、中央値以上群に比べて、「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」の割合が 6.4 倍、「鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした」の割合が 3.6 倍、「子ども部屋が欲しかったがつくれなかった」の割合が 2.8 倍となっていた。

困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由による経験（問 29）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

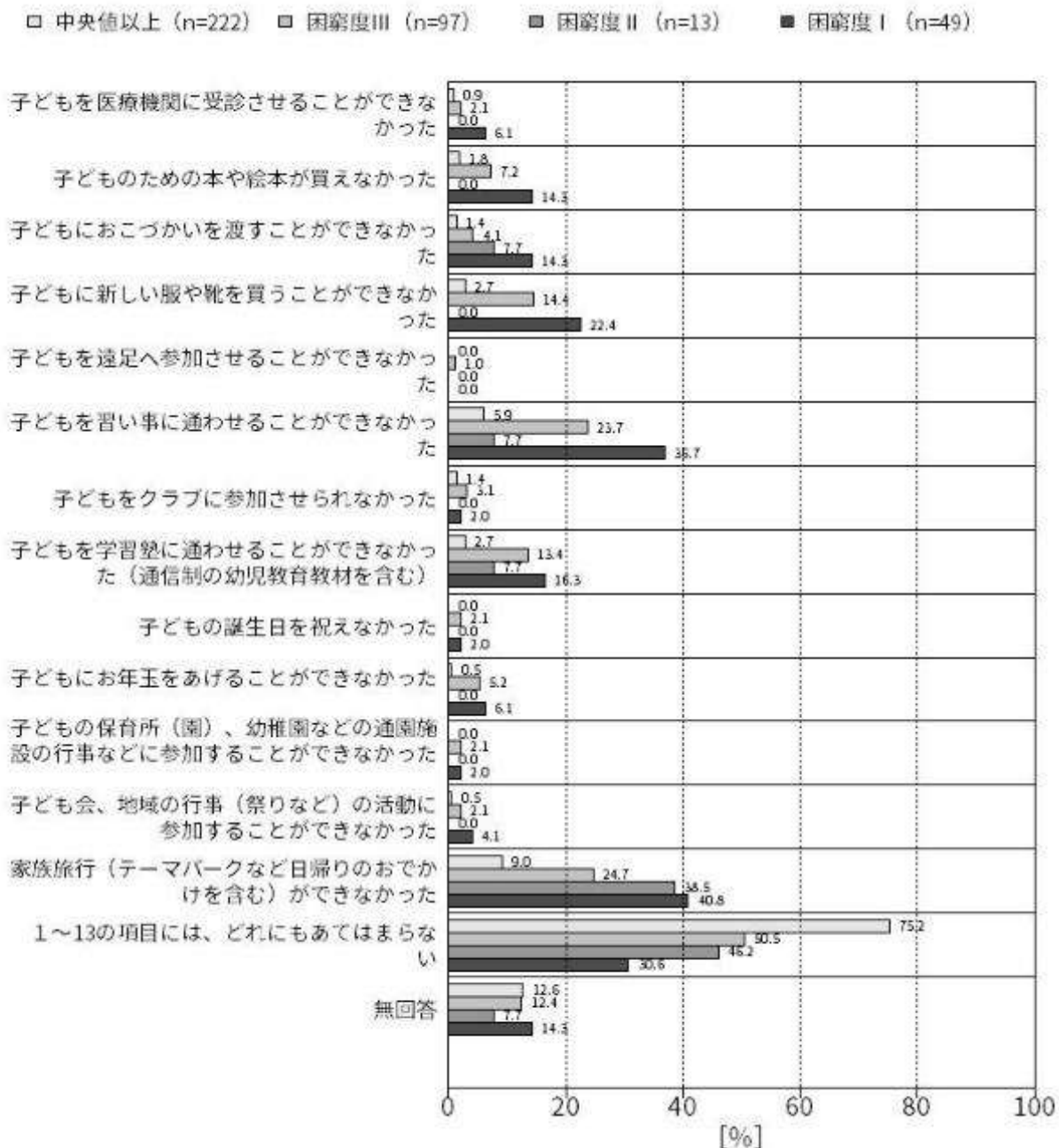


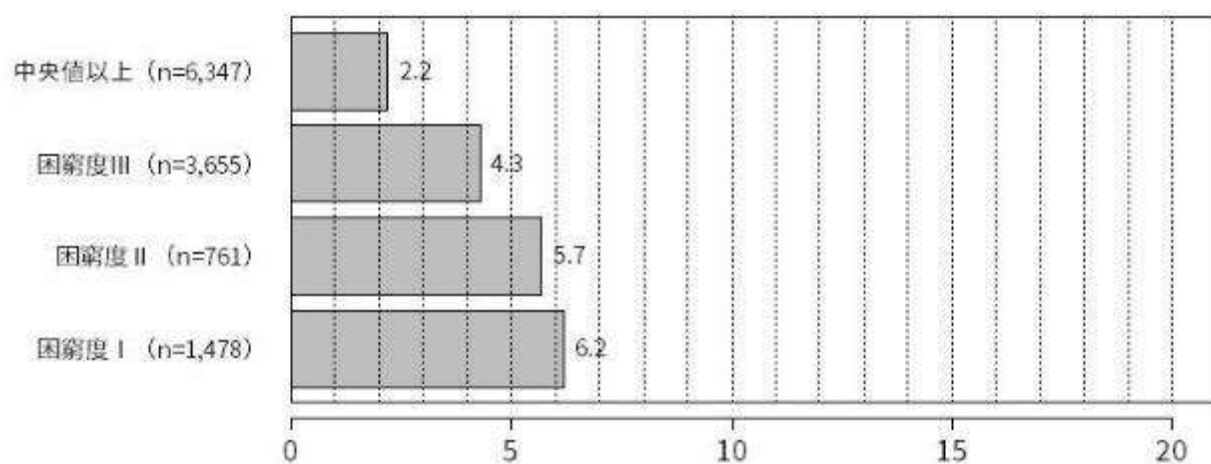
図 61. 困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由による経験

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度が高まるにつれて、できなかったことが増えていた。また、困窮度Ⅰ群では、中央値以上群に比べて、「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」の割合が 8.3 倍、「子どもを習い事に通わせることができなかった」の割合が 6.2 倍、「子どもを学習塾に通わせることができなかった (通信制の幼児教育教材を含む)」の割合が 6.0 倍となっていた。

困窮度別に見た、世帯で経済的な理由でできなかったこと（問 6）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

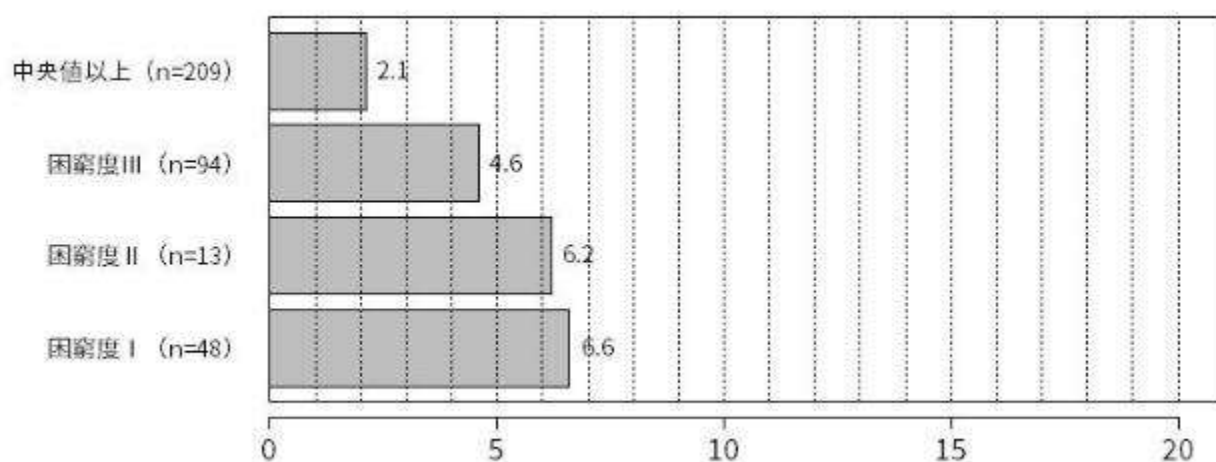


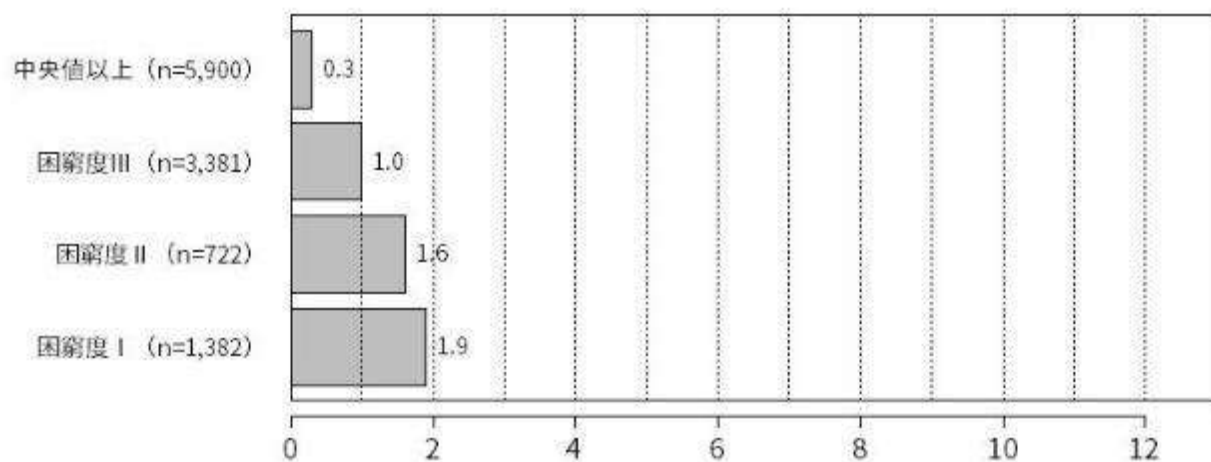
図 62. 困窮度別に見た、世帯で経済的な理由でできなかったこと

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

経済的な理由による経験として示した 21 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。困窮度が高まるにつれて、該当数が多くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群では 6.6 個であった。

困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと（問 29）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

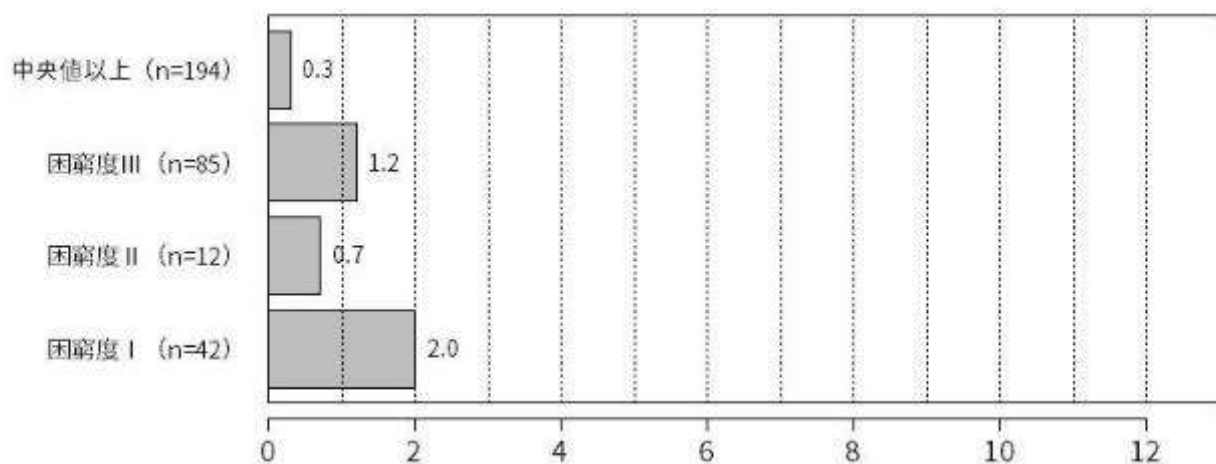


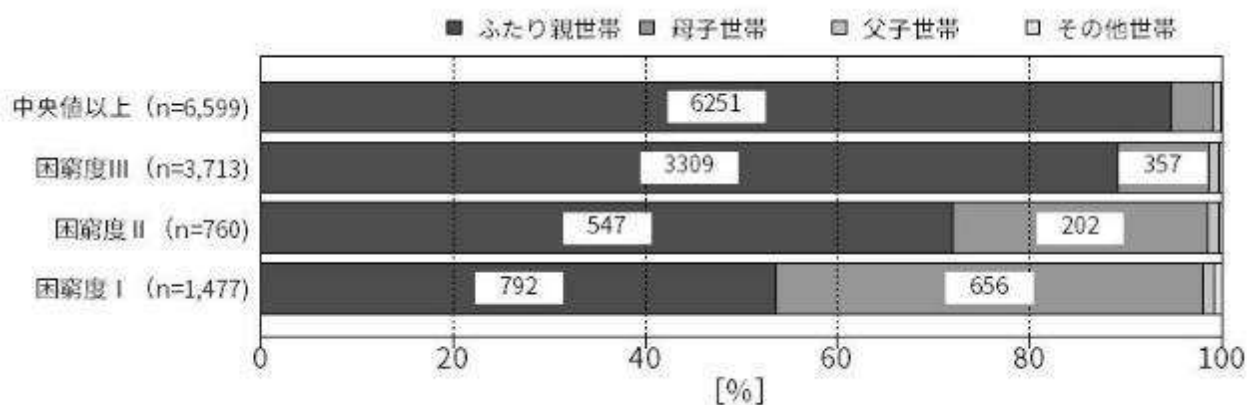
図 63. 困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度が高まるにつれて、該当数が多くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群では2.0個であった。

困窮度別に見た、世帯員の構成（問 3-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

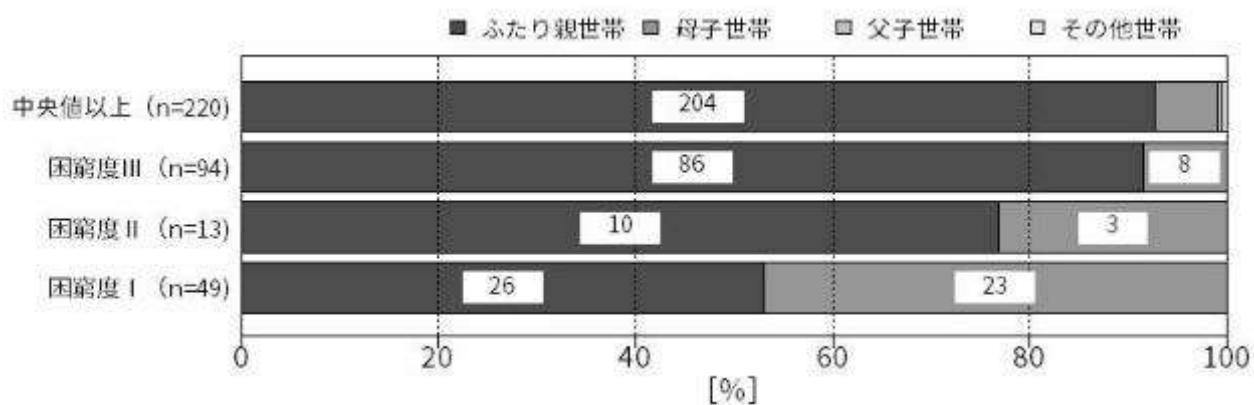


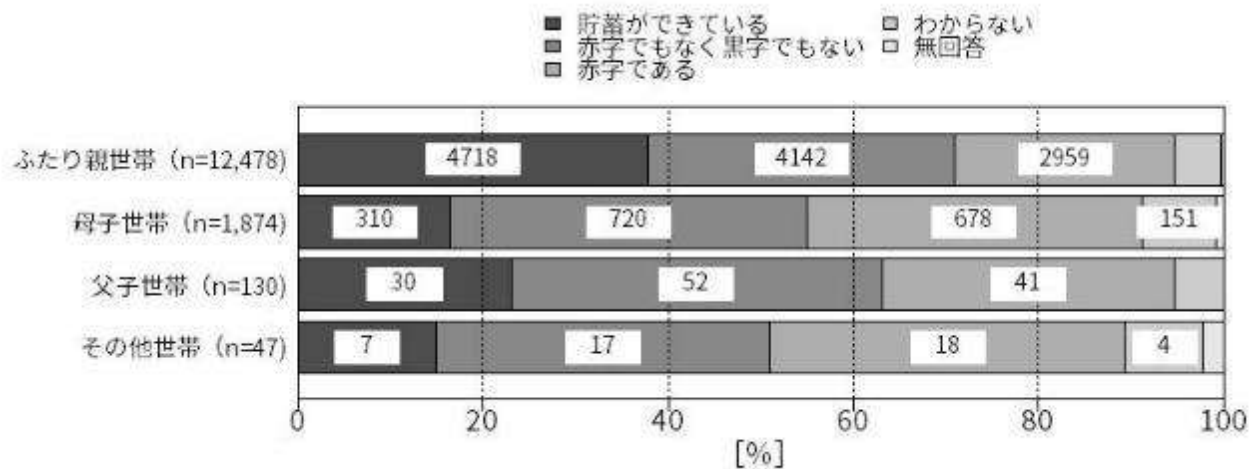
図 64. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度が高まるにつれ、ふたり親世帯の割合が低くなり、母子世帯の割合が高くなる。困窮度Ⅰ群では、「母子世帯」の割合が高くなっており、46.9%であった。

世帯構成別に見た、家計状況（問1×問5-1）

<大阪市24区>



<大阪市西区>

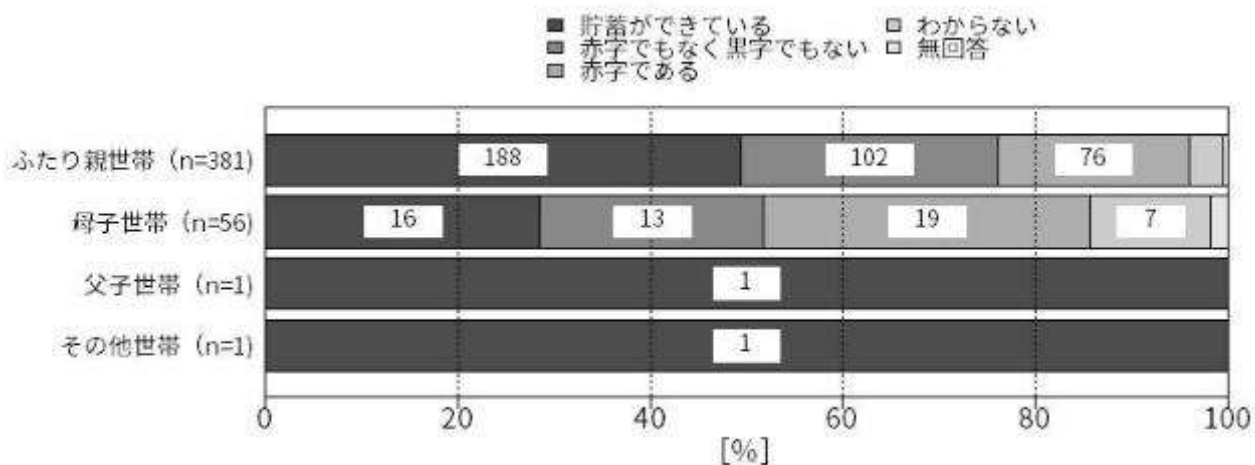
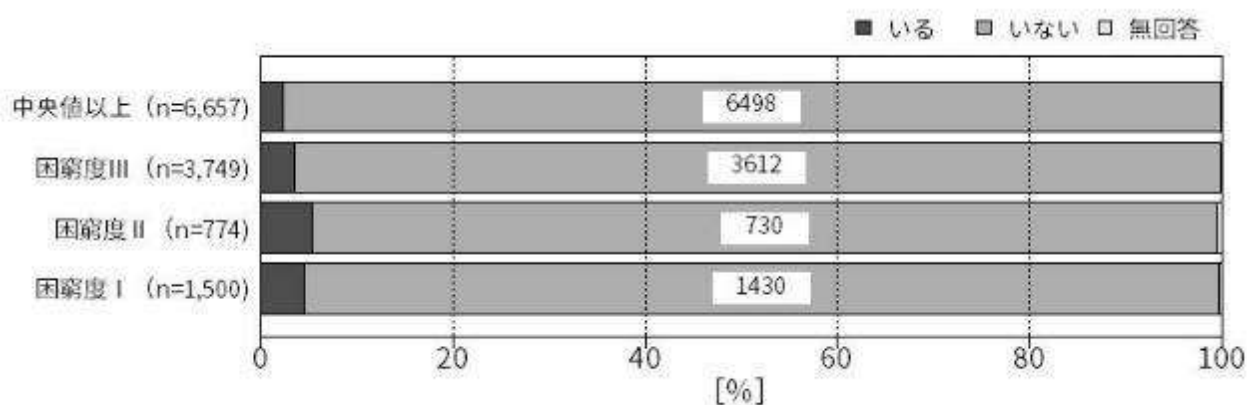


図 65. 世帯構成別に見た、家計状況

ふたり親世帯では 49.3%が「貯蓄ができている」が、母子世帯では「赤字でも黒字でもない」「赤字である」が多い（それぞれ 23.2%、33.9%）。父子世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、介護または介助の必要な人（問 3-1-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

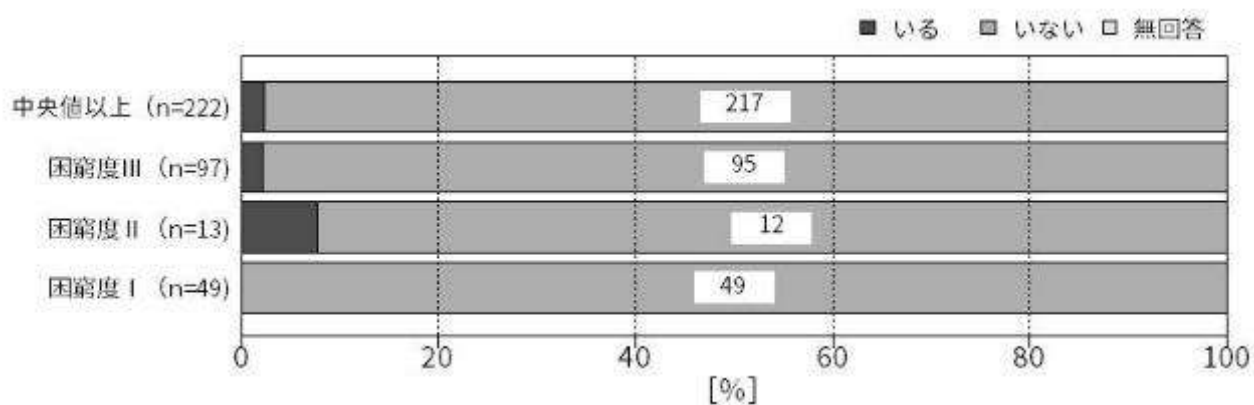
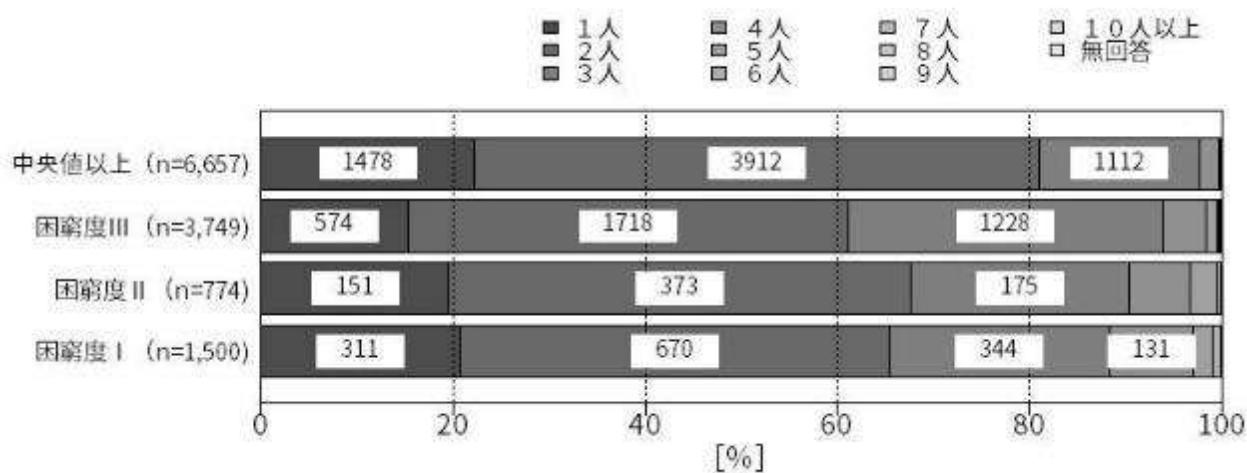


図 66. 困窮度別に見た、介護または介助の必要な人

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、子どもの人数（問 3-1-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

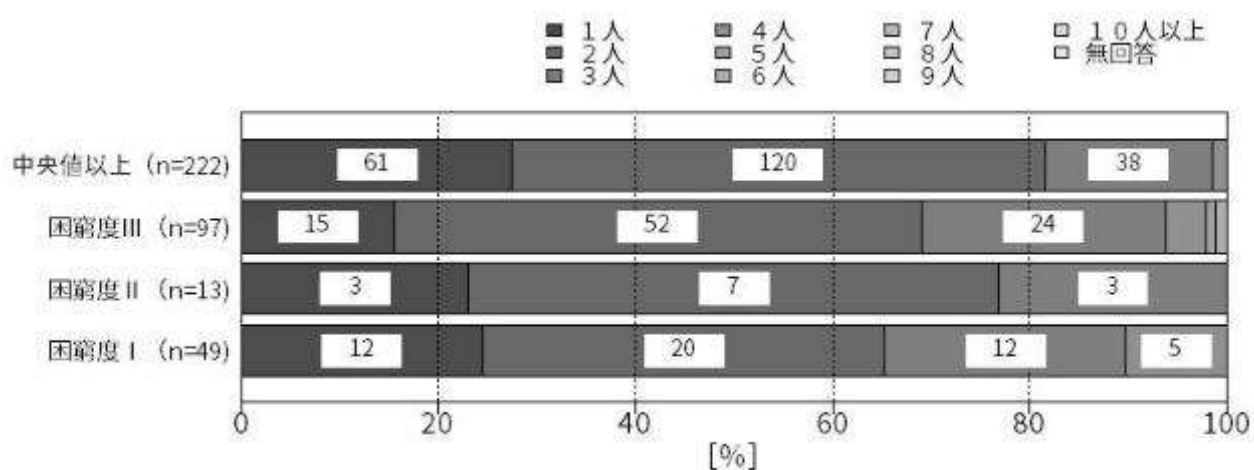


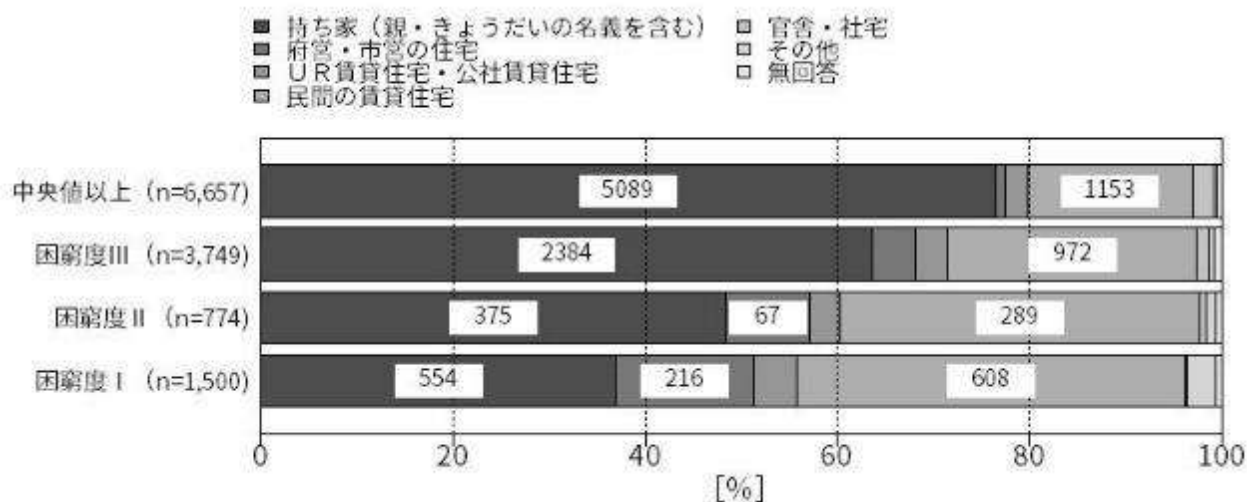
図 67. 困窮度別に見た、子どもの人数

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度Ⅰでは、子どもの人数が3人以上の世帯が34.7%を占めていた。

困窮度別に見た、住居（問 4）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

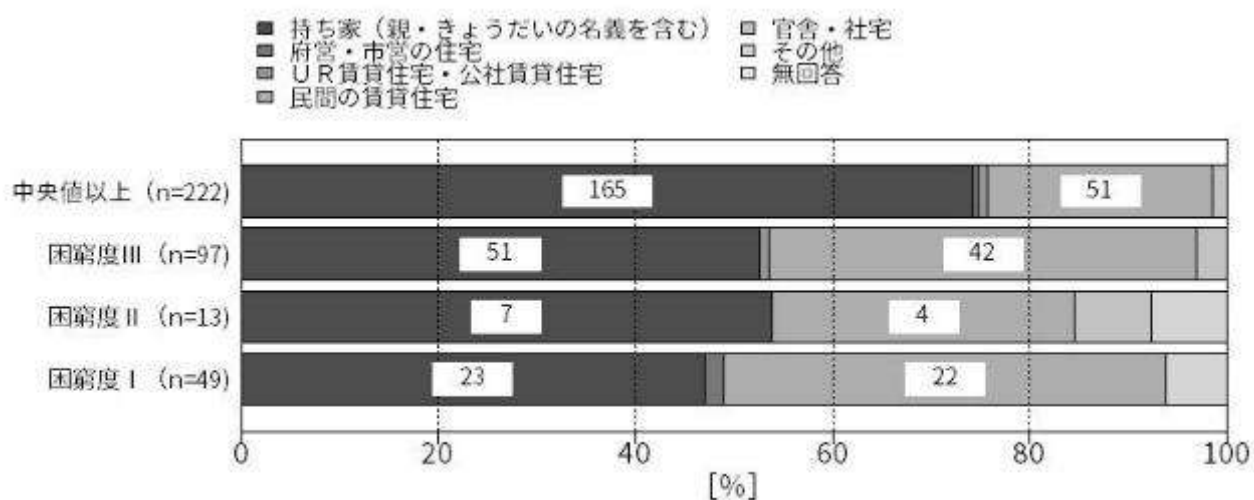


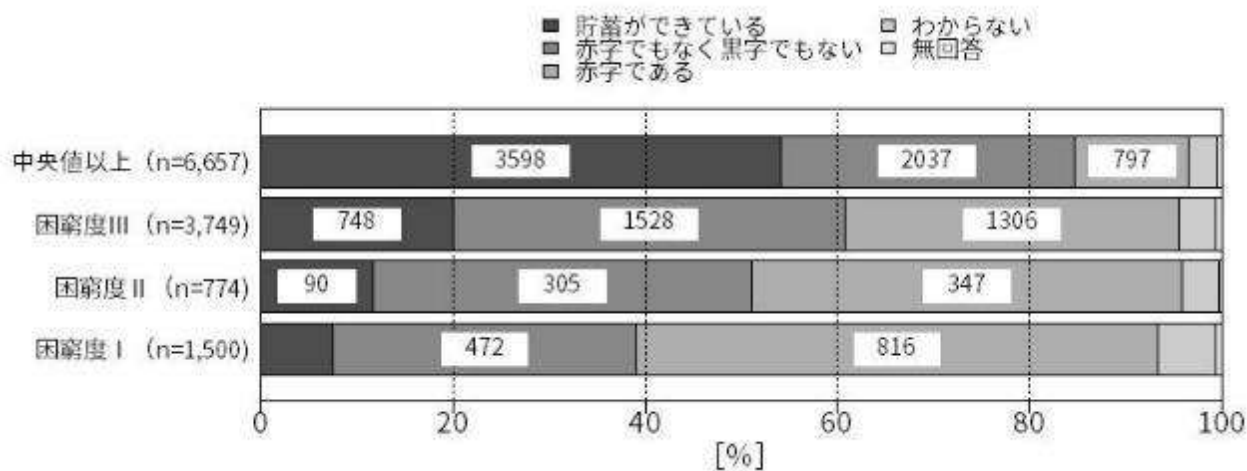
図 68. 困窮度別に見た、住居

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度が高まるにつれて持ち家の保有率は低くなっている。困窮度Ⅰ群では、「民間の賃貸住宅」が44.9%（中央値以上群に対して2.0倍）であった。

困窮度別に見た、家計状況（問 5-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

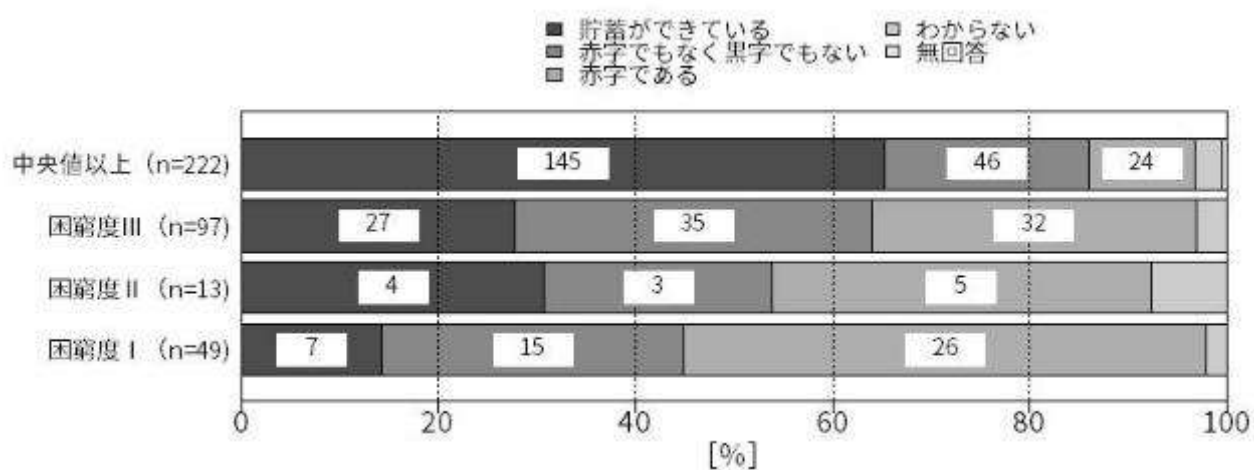


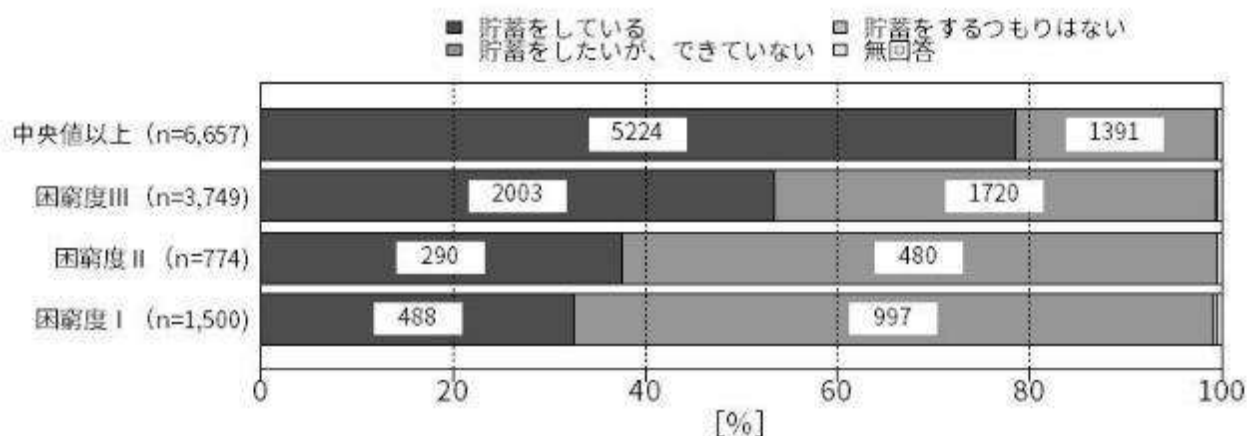
図 69. 困窮度別に見た、家計状況

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度Ⅰ群では、「赤字でもなく黒字でもない」が30.6%、「赤字である」が53.1%を占めていた。

困窮度別に見た、子どものための貯蓄（問 5-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

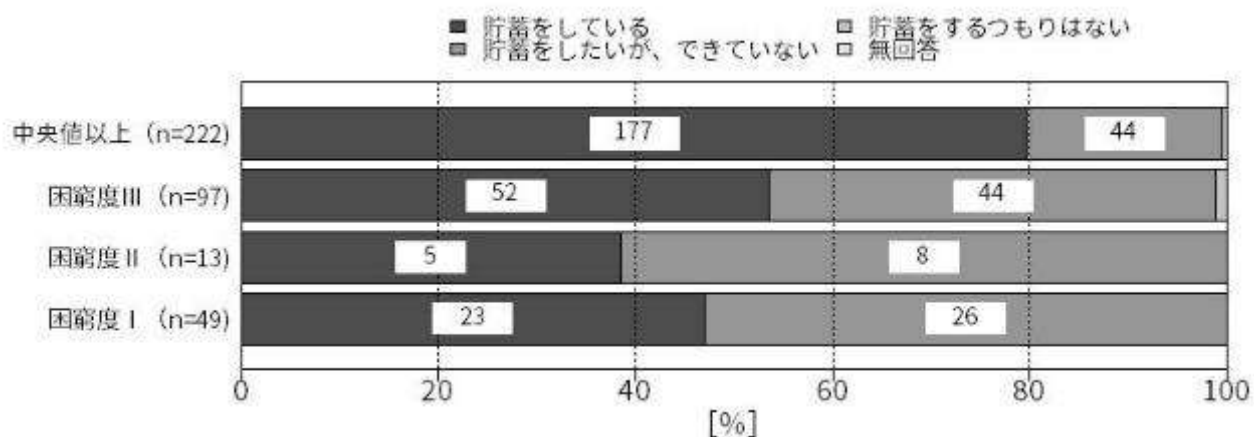


図 70. 困窮度別に見た、子どものための貯蓄

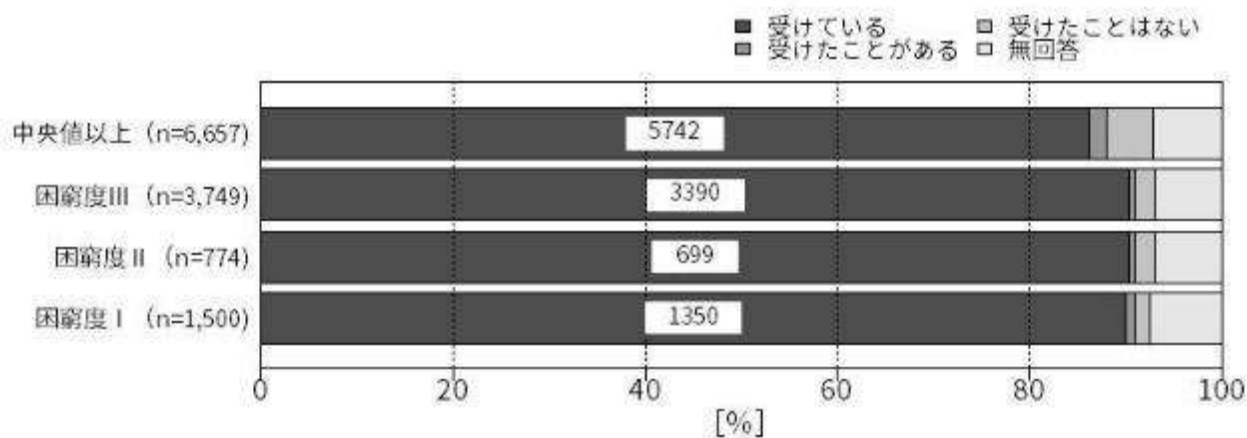
困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度Ⅰ群では、「貯蓄をしたいが、できていない」が 53.1%を占めていた。

(2) 家庭状況（制度等）

困窮度別に見た、児童手当（問 41-3-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

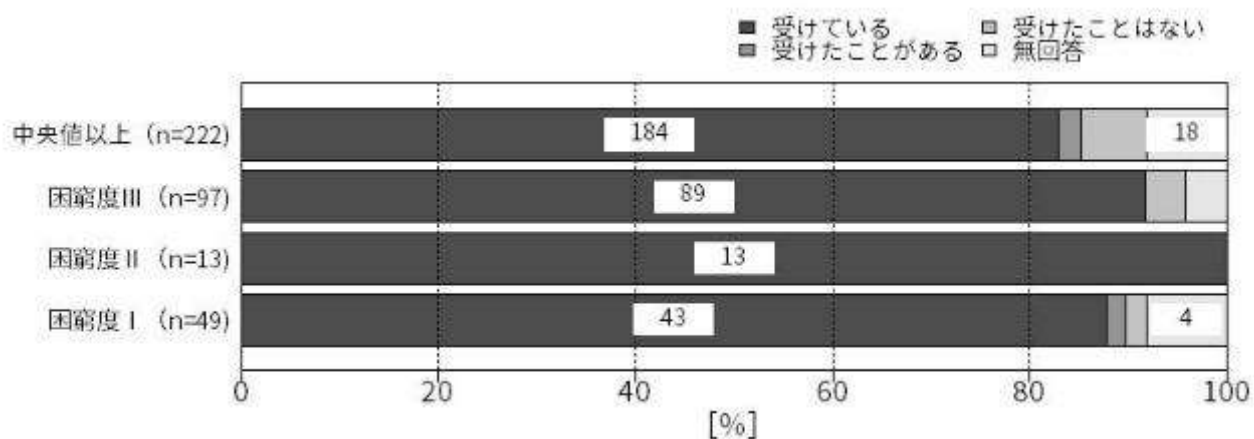
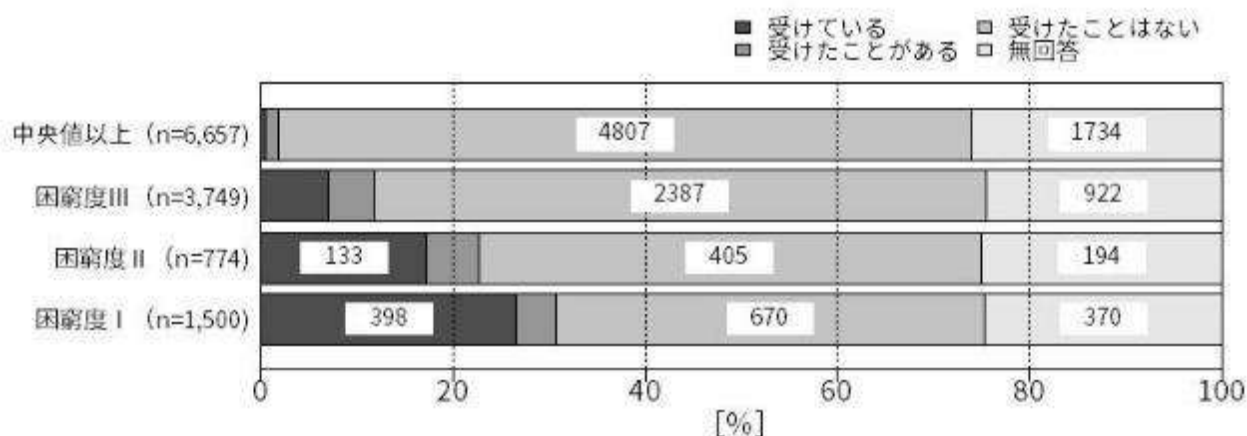


図 71. 困窮度別に見た、児童手当

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。
いずれの群も多く世帯が、児童手当を受けていた。

困窮度別に見た、就学援助（問 41-3-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

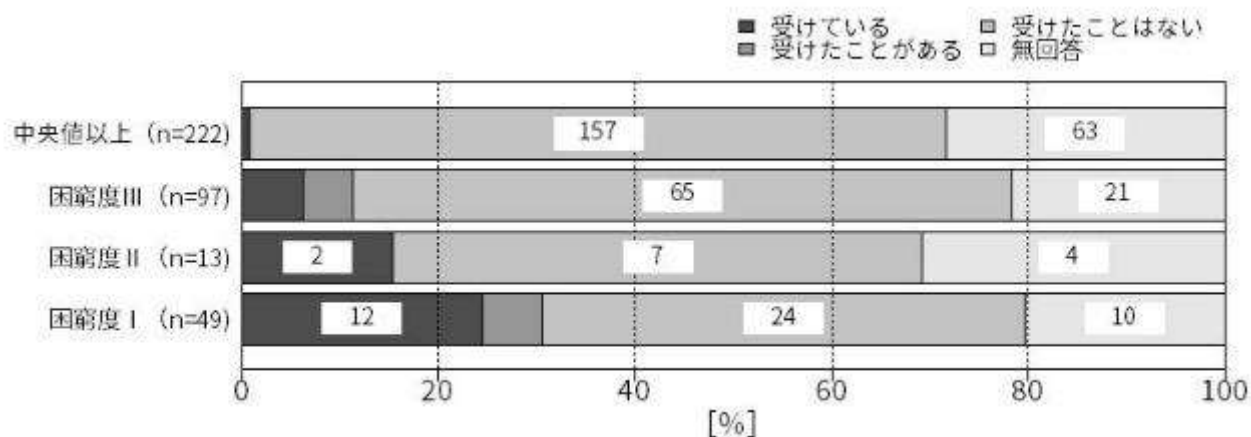


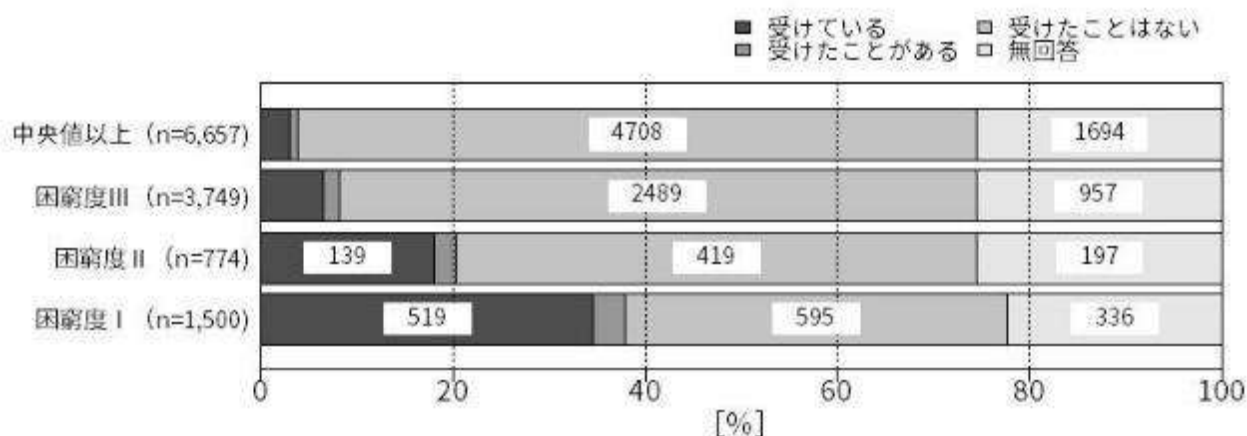
図 72. 困窮度別に見た、就学援助

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度Ⅰ群においては 24.5%であった。いずれの群においても無回答の割合が同程度見られる。

困窮度別に見た、児童扶養手当（問 41-3-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

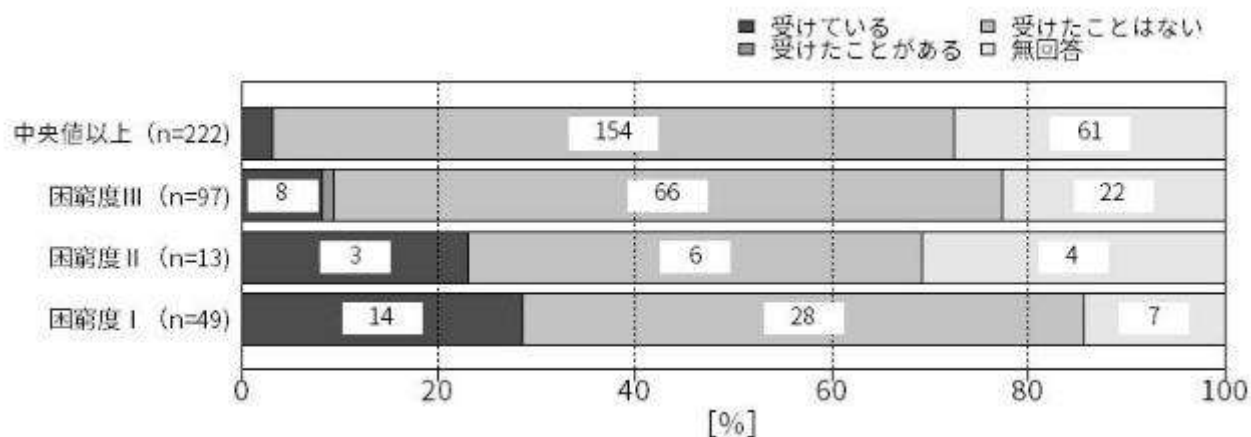


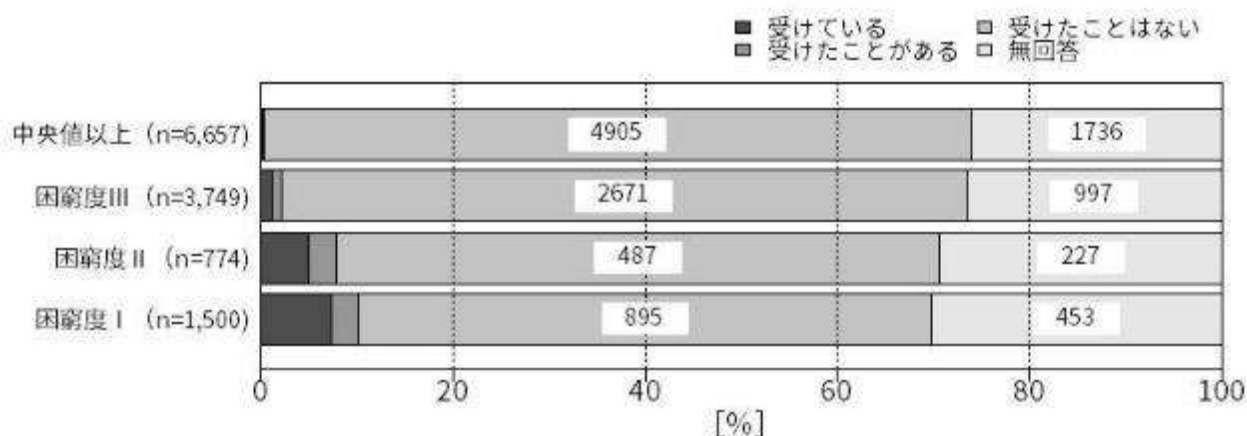
図 73. 困窮度別に見た、児童扶養手当

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度Ⅰ群においては28.6%であった。いずれの群においても無回答の割合が同程度見られる。

困窮度別に見た、生活保護（問 41-3-5）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

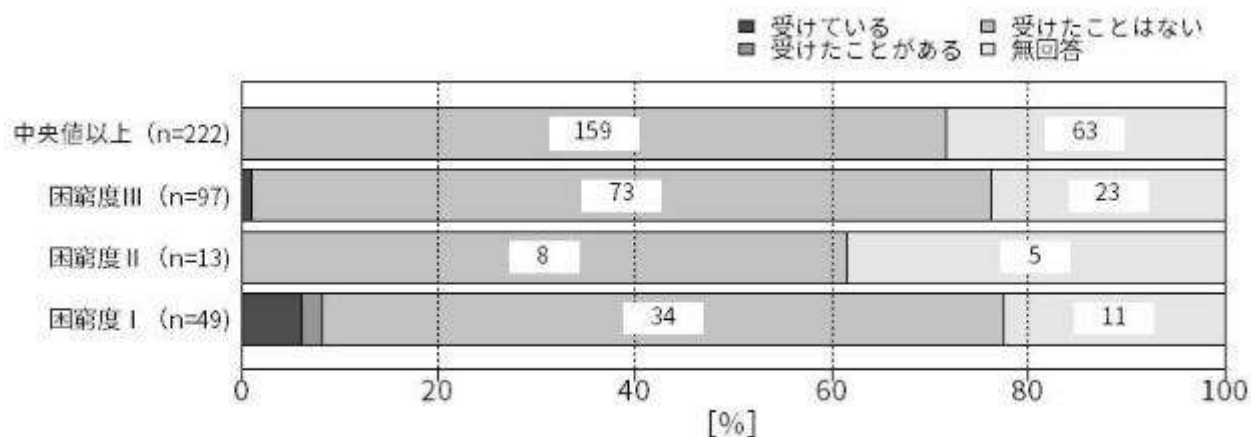


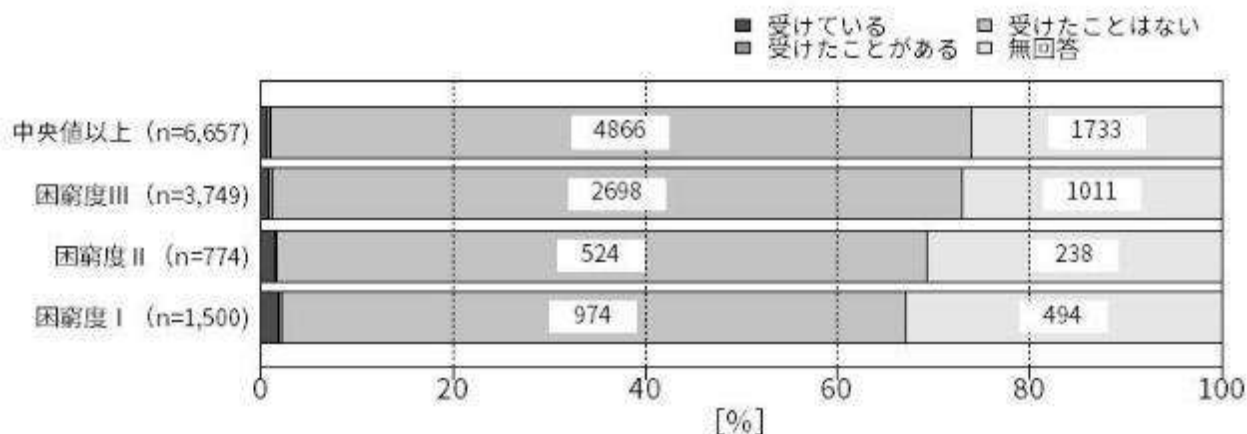
図 74. 困窮度別に見た、生活保護

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度Ⅰ群においては生活保護を受けている割合が 6.1%であった。いずれの群においても無回答が見られる。

困窮度別に見た、公的年金（遺族年金、障がい年金）（問 41-3-7）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

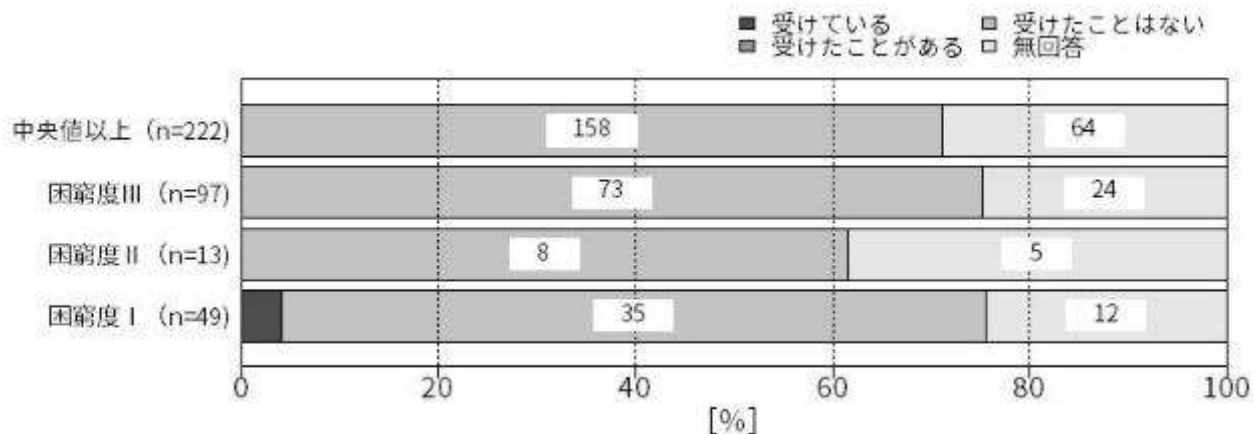


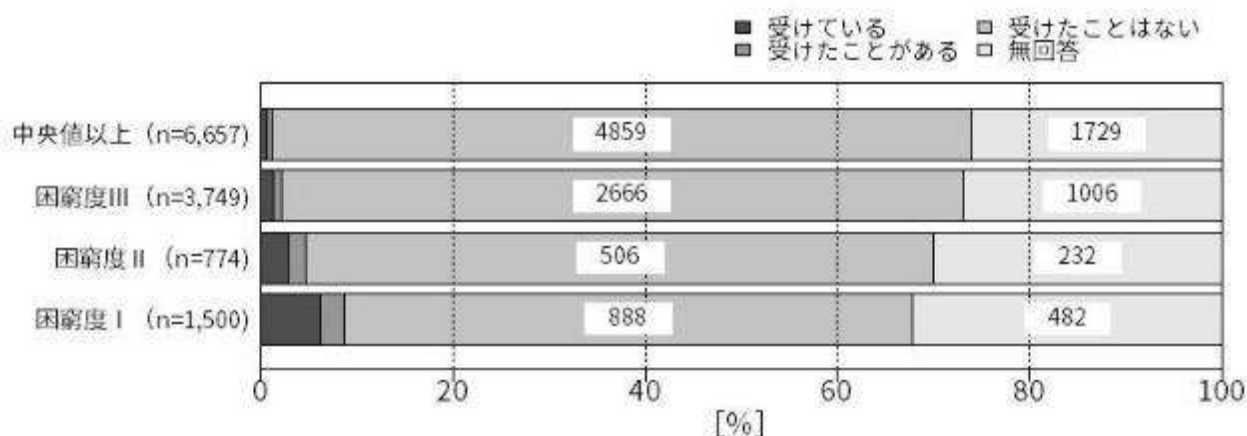
図 75. 困窮度別に見た、公的年金（遺族年金、障がい年金）

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度Ⅰ群では、受けている割合が 4.1%であった。いずれの群においても無回答の割合が見られる。

困窮度別に見た、養育費（問 42-3-9）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

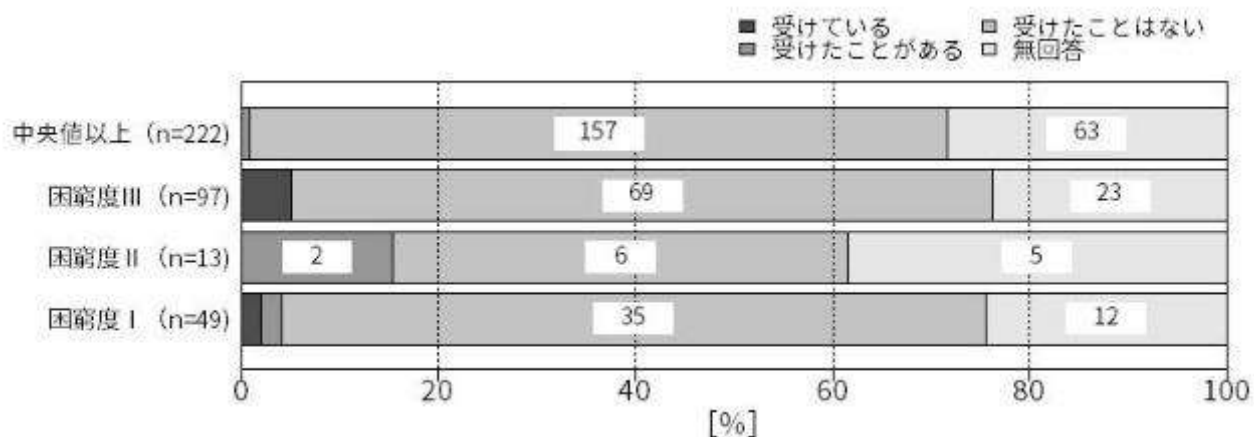
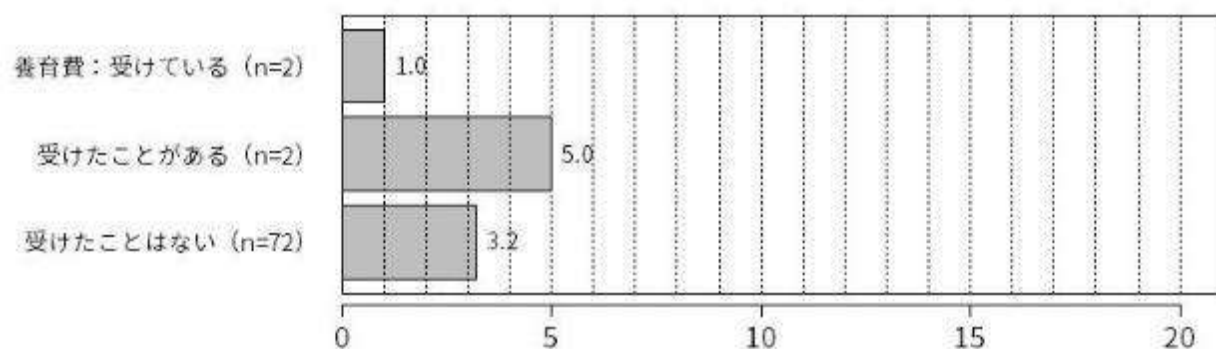


図 76. 困窮度別に見た、養育費

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。
 困窮度Ⅰでは、2.0%が受けていた。いずれの群においても無回答の割合が見られる。

養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（問 30-3-9×問 6）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

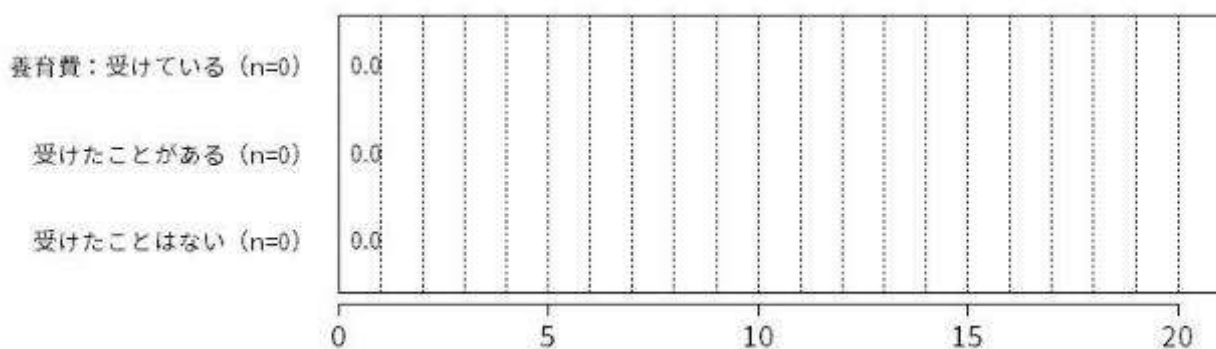
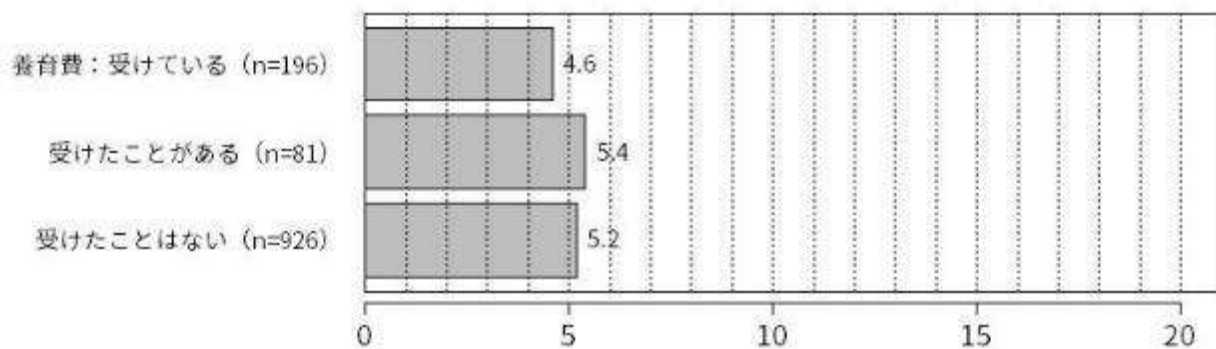


図 77. 養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均
＜父子世帯＞

いずれも回答がなかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（問 30-3-9×問 6）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

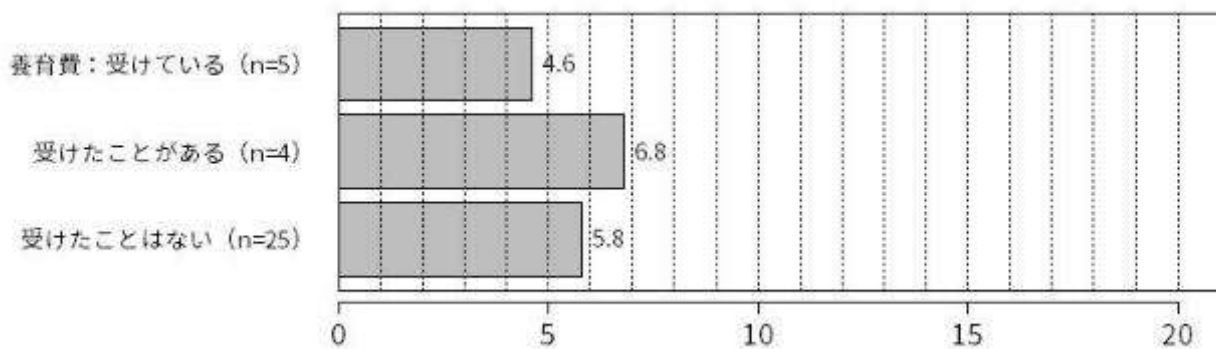


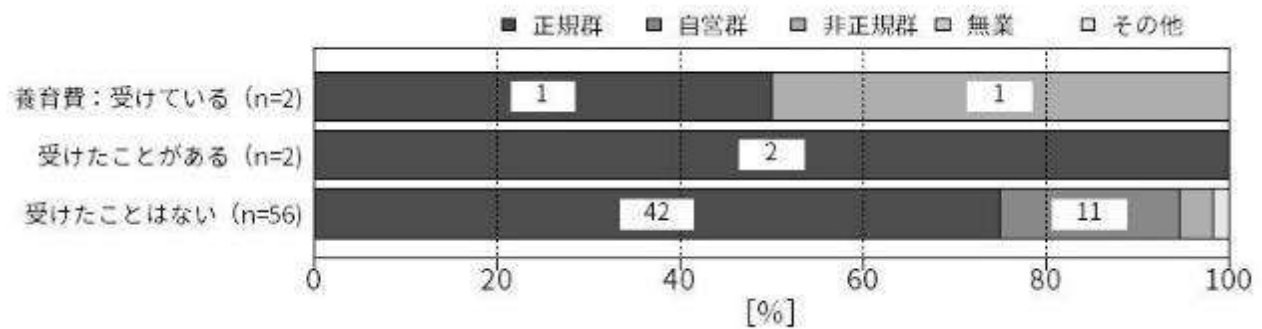
図 78. 養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均
＜母子世帯＞

養育費を受けている・受けたことのある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費を受けたことのない世帯では、該当数が多い傾向にあった。

養育費の受給別に見た、就労状況（問 30-3-9×問 8）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

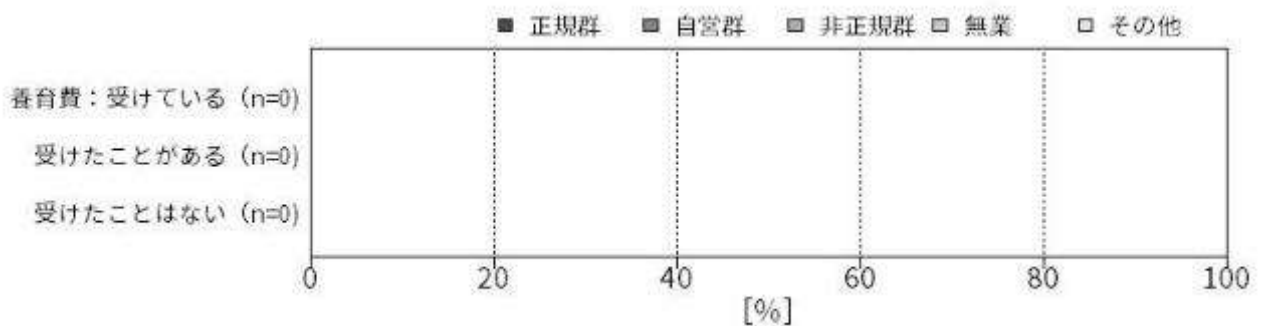
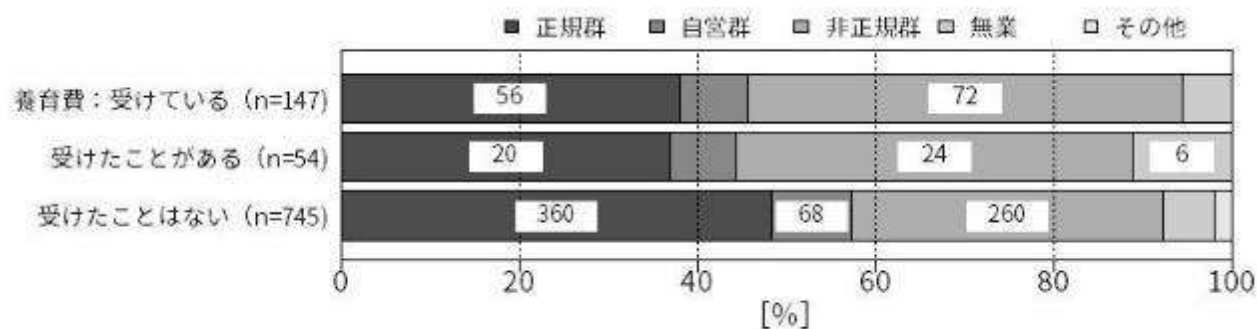


図 79. 養育費の受給別に見た、就労状況＜父子世帯＞

父子世帯は少なかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、就労状況（問 30-3-9×問 8）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

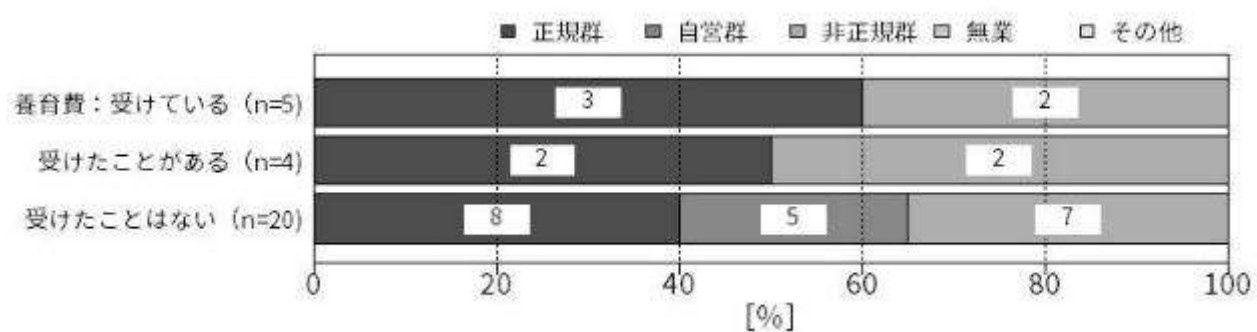
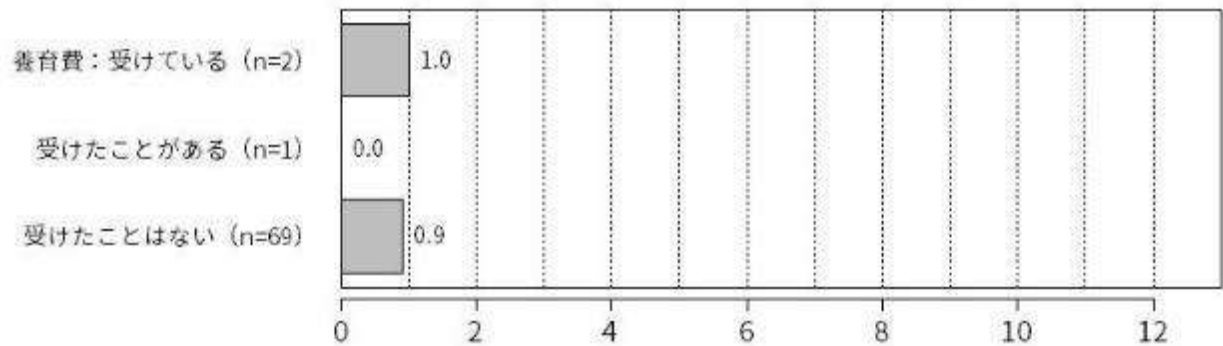


図 80. 養育費の受給別に見た、就労状況＜母子世帯＞

養育費を受けている・受けたことのある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと（問 30-3-9×問 29）
 ＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

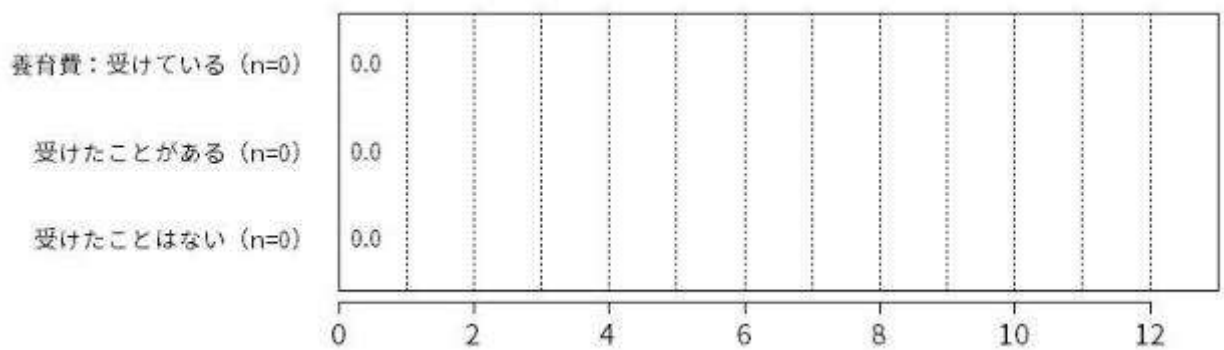
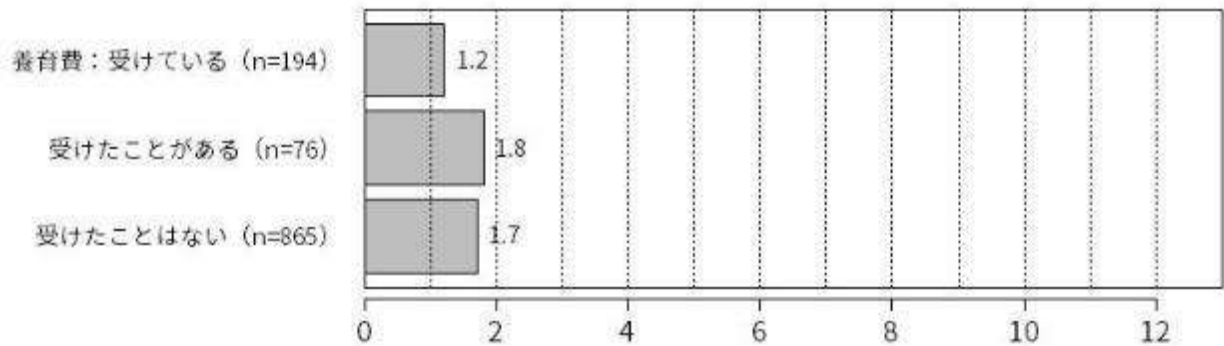


図 81. 養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと
 ＜父子世帯＞

いずれも回答がなかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと（問 30-3-9×問 29）
 ＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

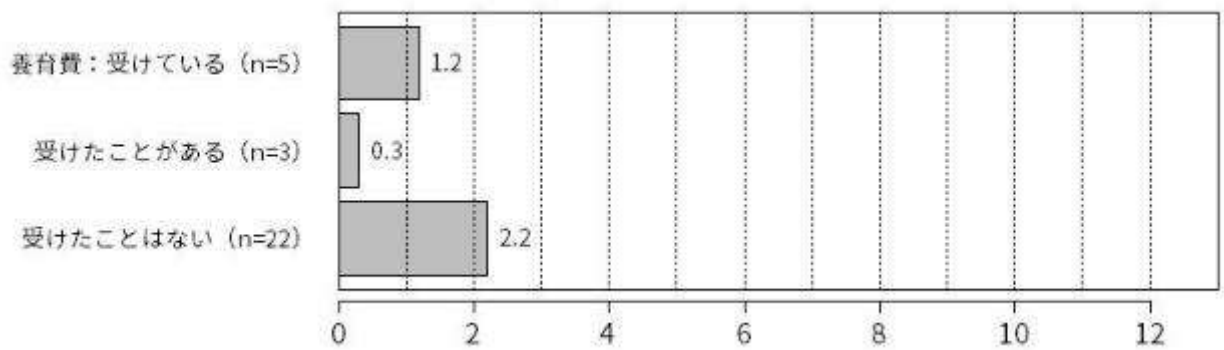
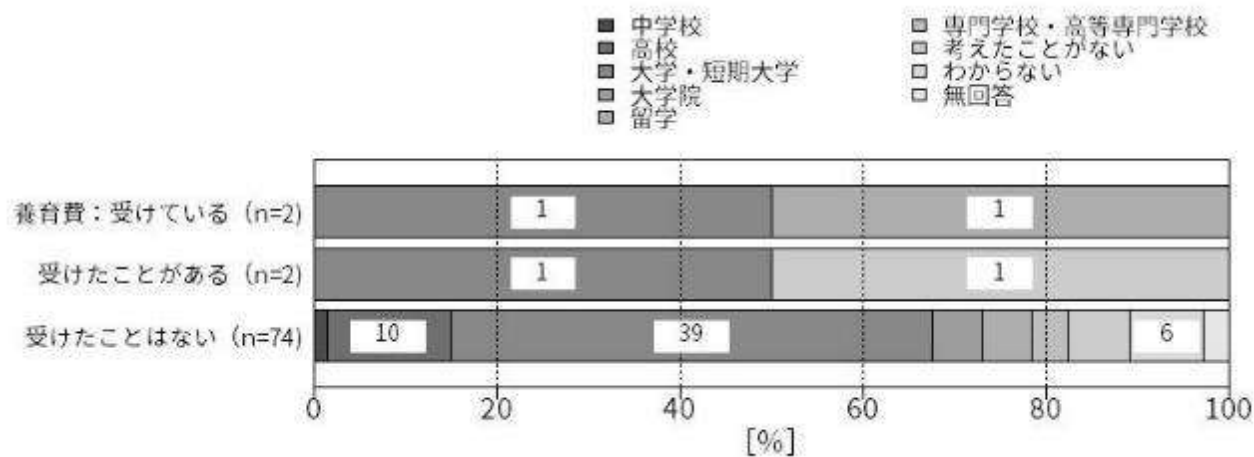


図 82. 養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと
 ＜母子世帯＞

養育費を受けている・受けたことのある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子の進学先希望（問 30-3-9×問 32）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

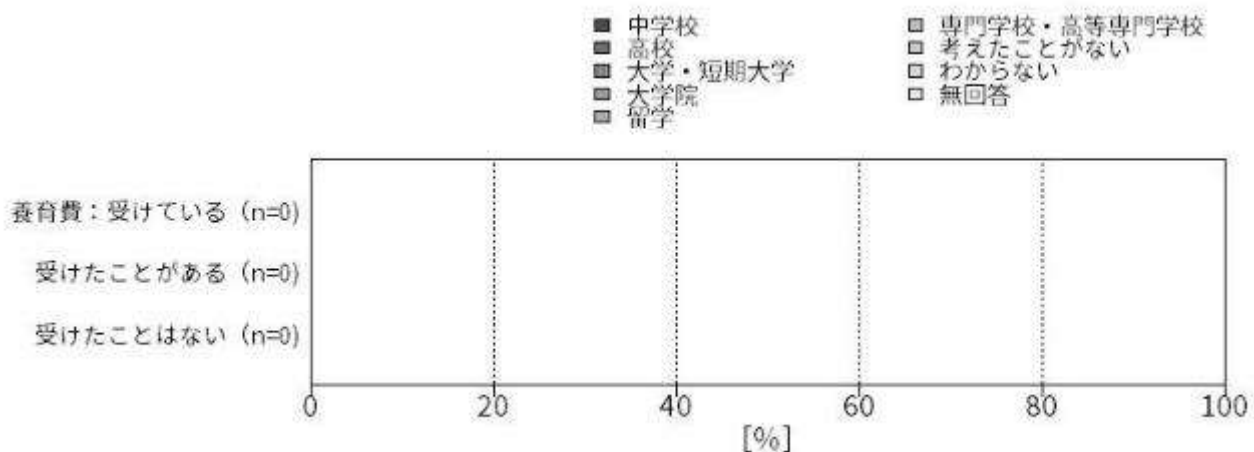
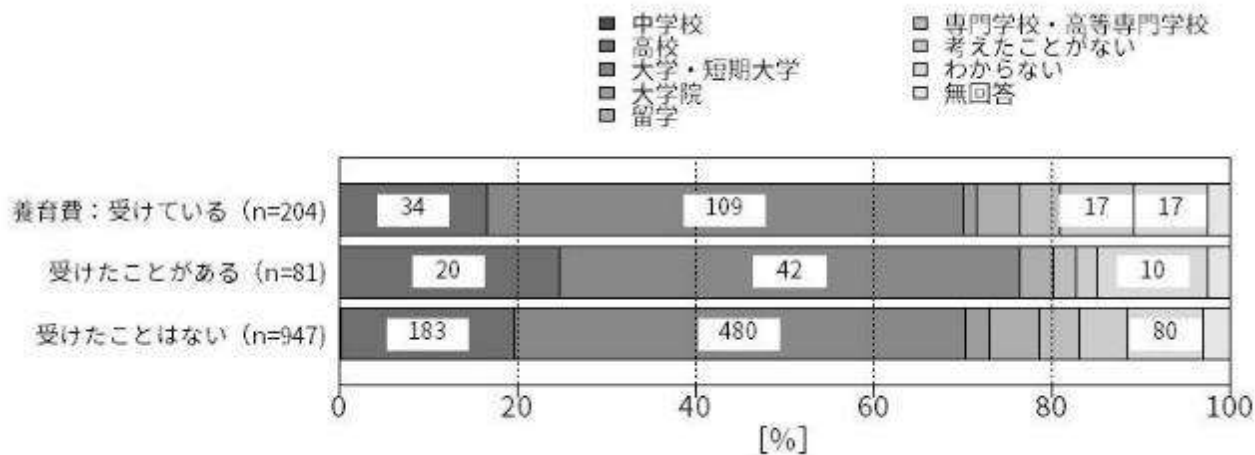


図 83. 養育費の受給別に見た、子の進学先希望
＜父子世帯＞

いずれも回答がなかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子の進学先希望（問 30-3-9×問 32）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

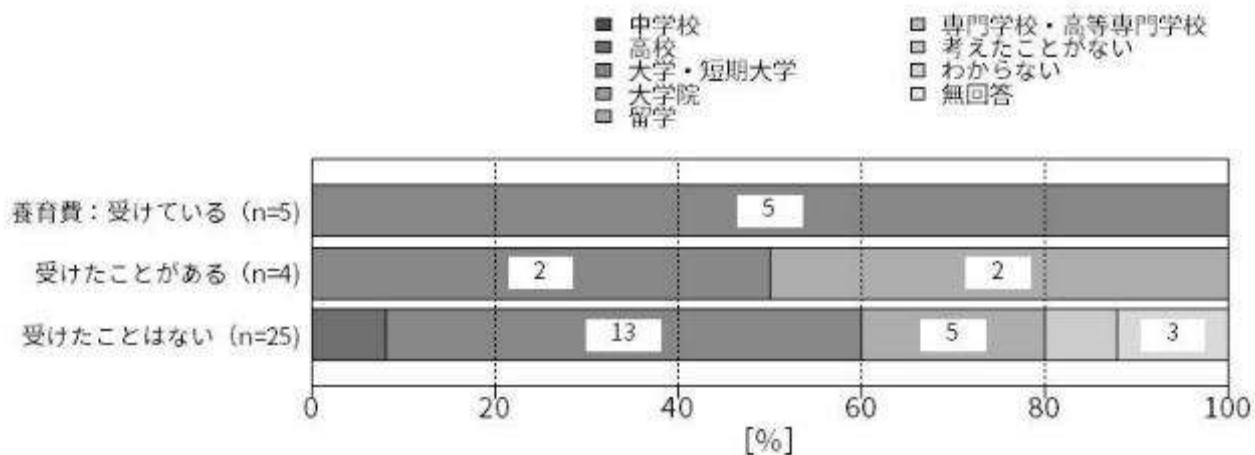
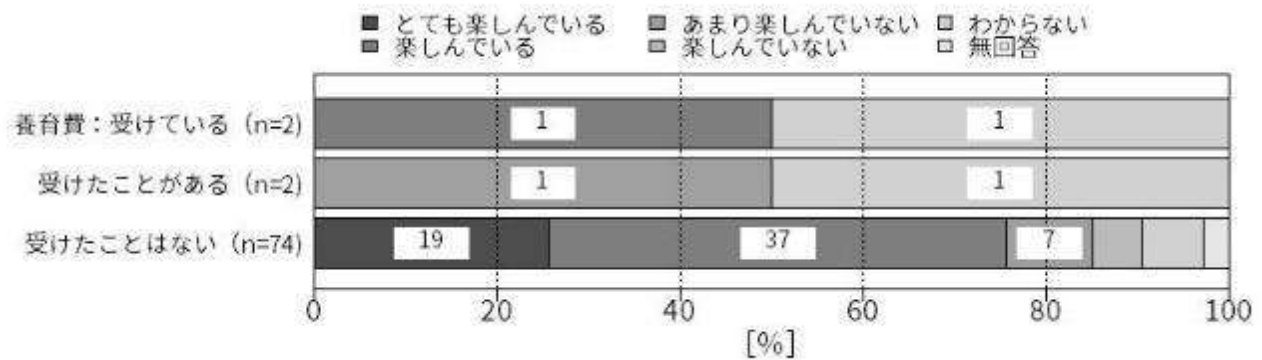


図 84. 養育費の受給別に見た、子の進学先希望
＜母子世帯＞

養育費を受けている・受けたことのある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる（問 30-3-9×問 36-1）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

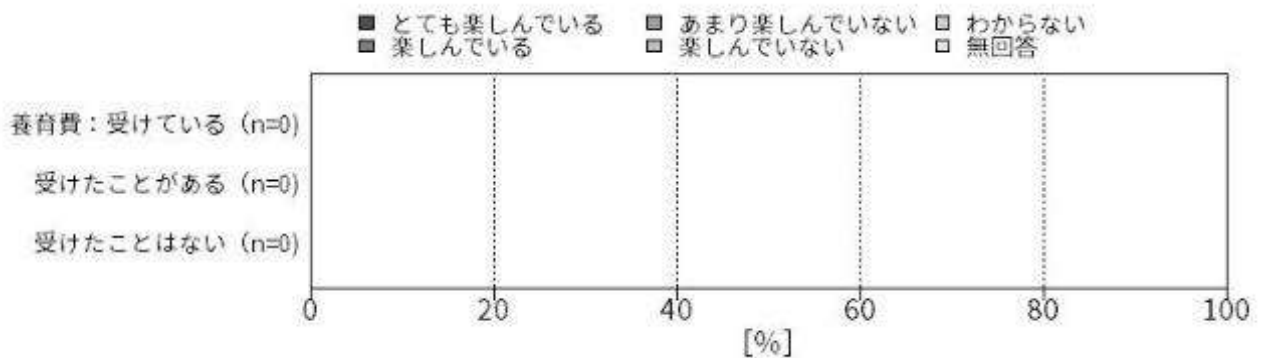
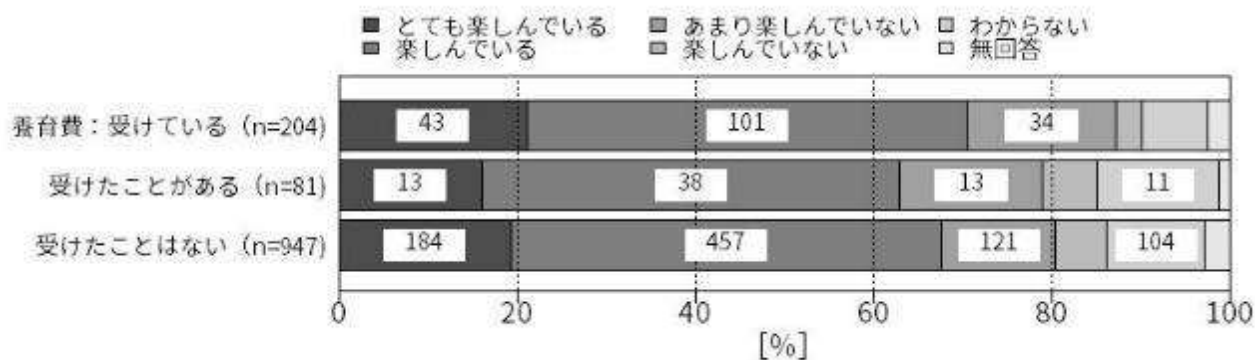


図 85. 養育費の受給別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる
＜父子世帯＞

いずれも回答がなかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる（問 30-3-9×問 36-1）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

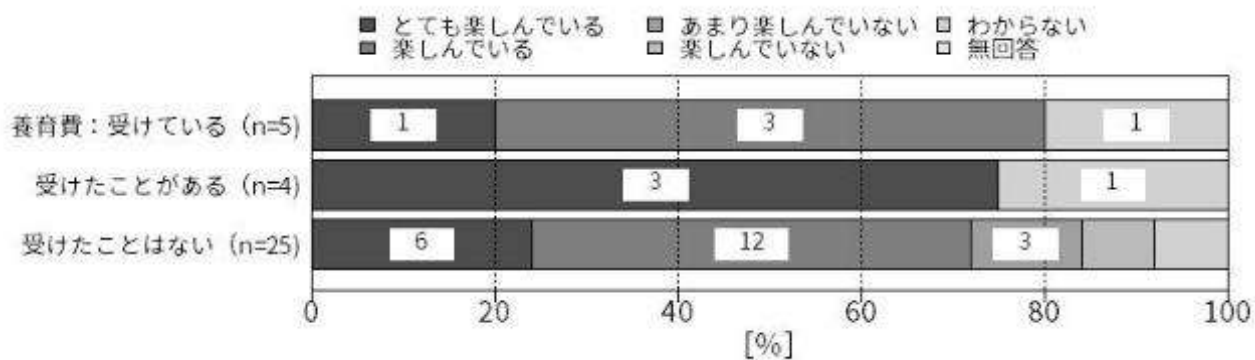
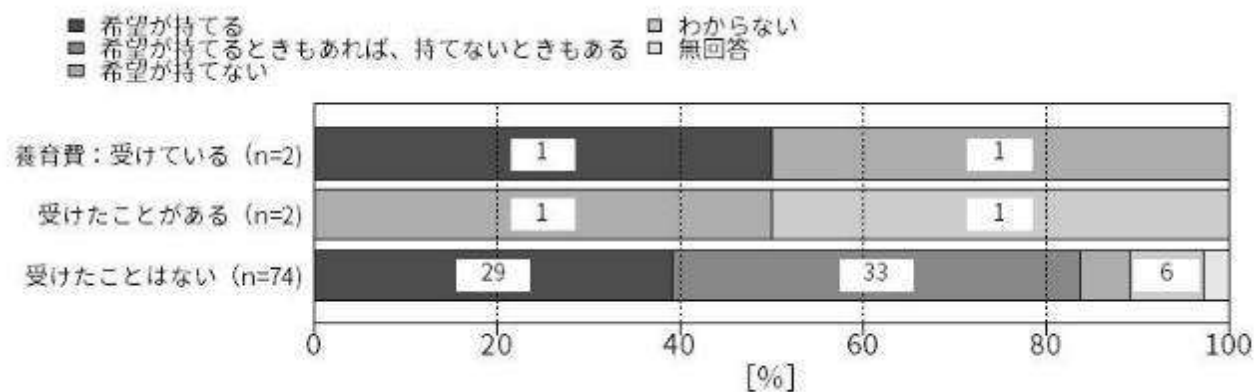


図 86. 養育費の受給別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる
＜母子世帯＞

養育費を受けている・受けたことのある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 30-3-9×問 36-2）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

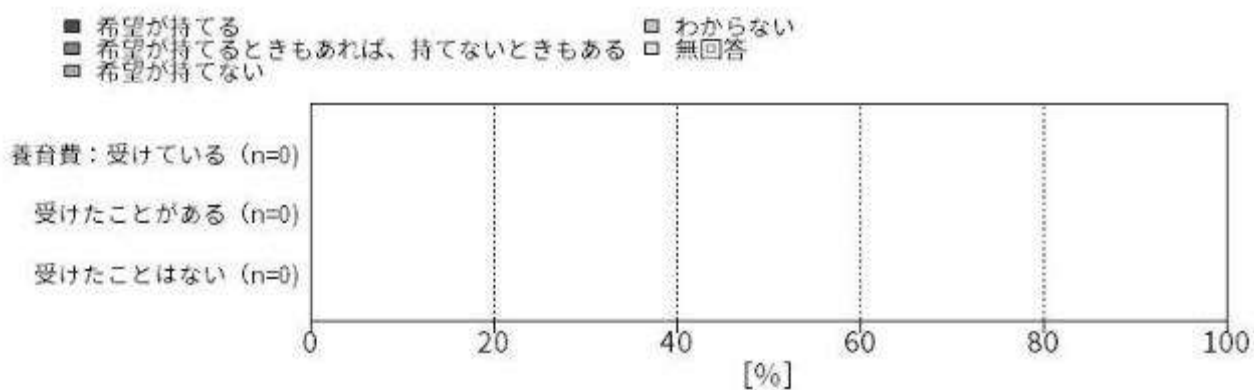
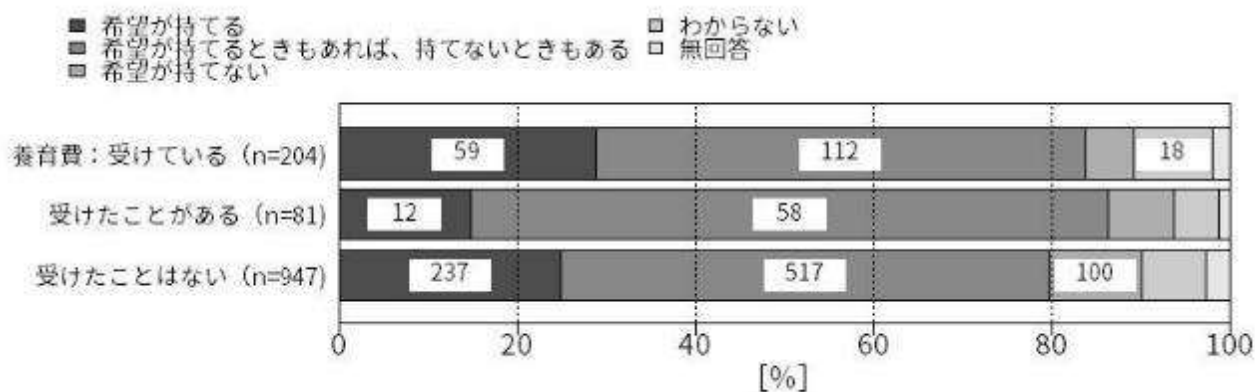


図 87. 養育費の受給別に見た、心の状態（２）将来への希望
＜父子世帯＞

いずれも回答がなかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 30-3-9×問 36-2）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

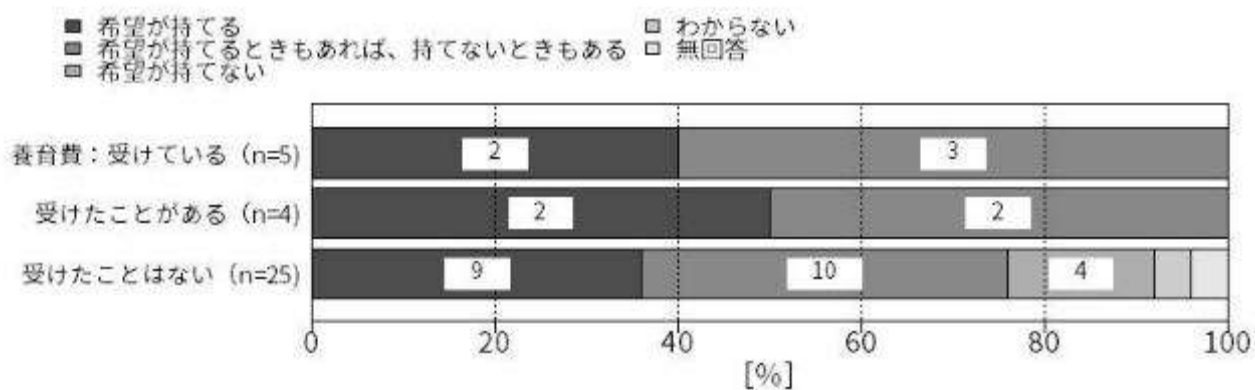
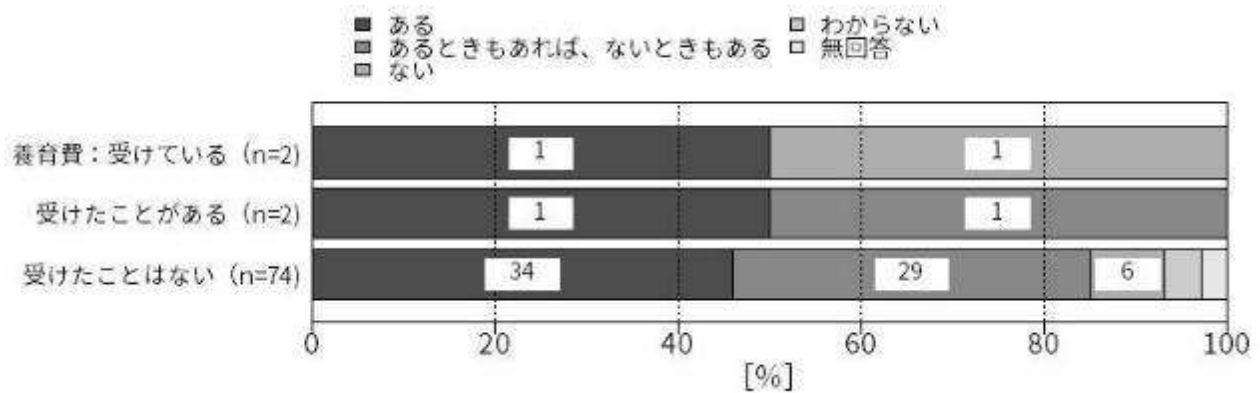


図 88. 養育費の受給別に見た、心の状態（２）将来への希望
＜母子世帯＞

養育費を受けている・受けたことのある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの（問 30-3-9×問 36-3）
 ＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

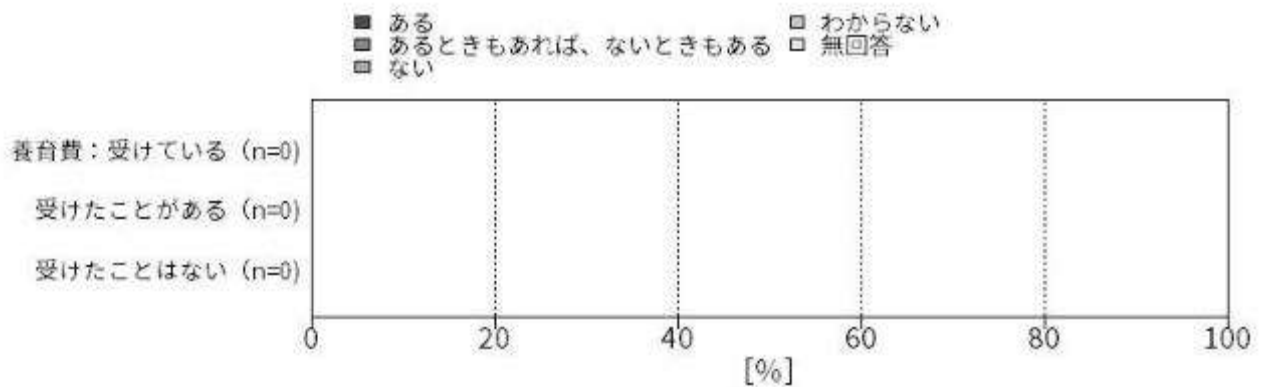
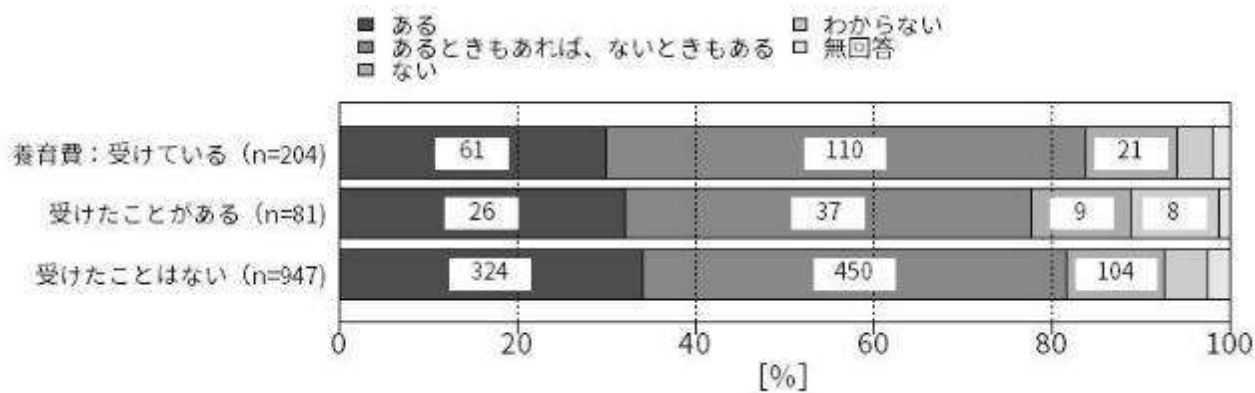


図 89. 養育費の受給別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの
 ＜父子世帯＞

いずれも回答がなかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの（問 30-3-9×問 36-3）
 ＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

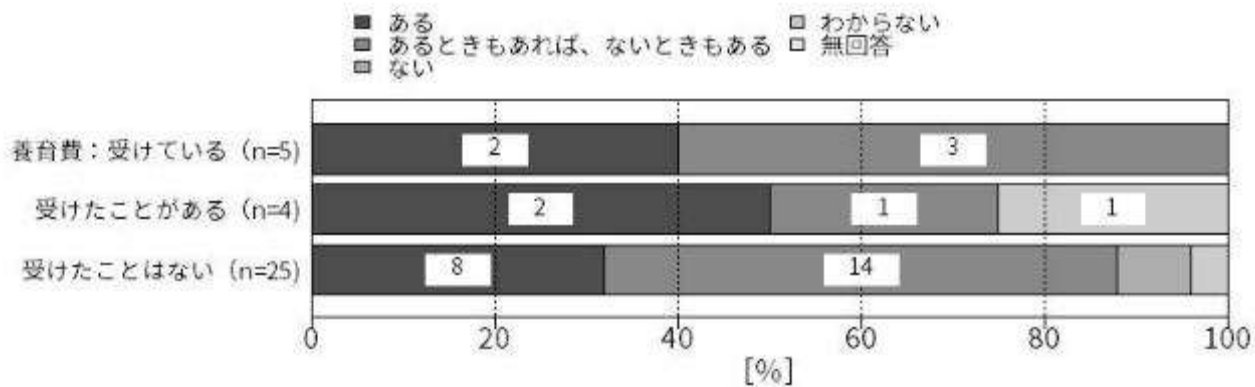
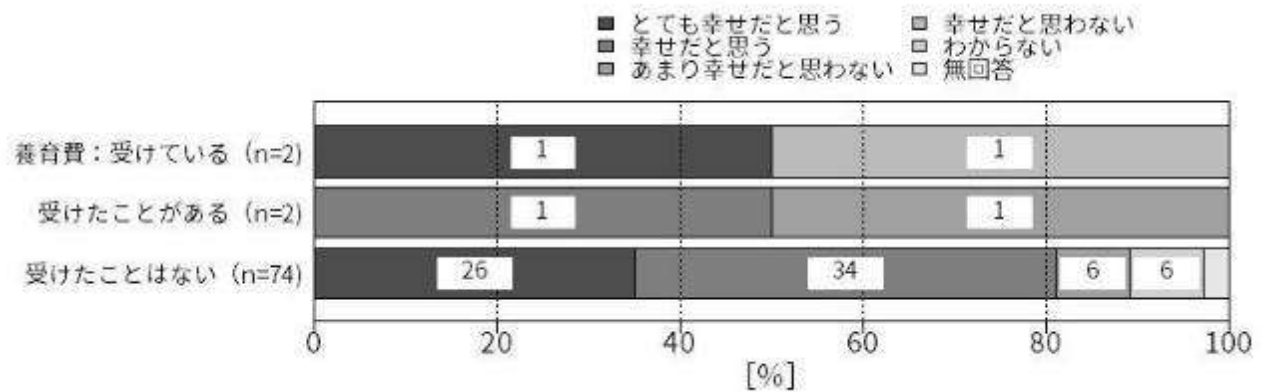


図 90. 養育費の受給別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの
 ＜母子世帯＞

養育費を受けている・受けたことのある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 30-3-9×問 36-4）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

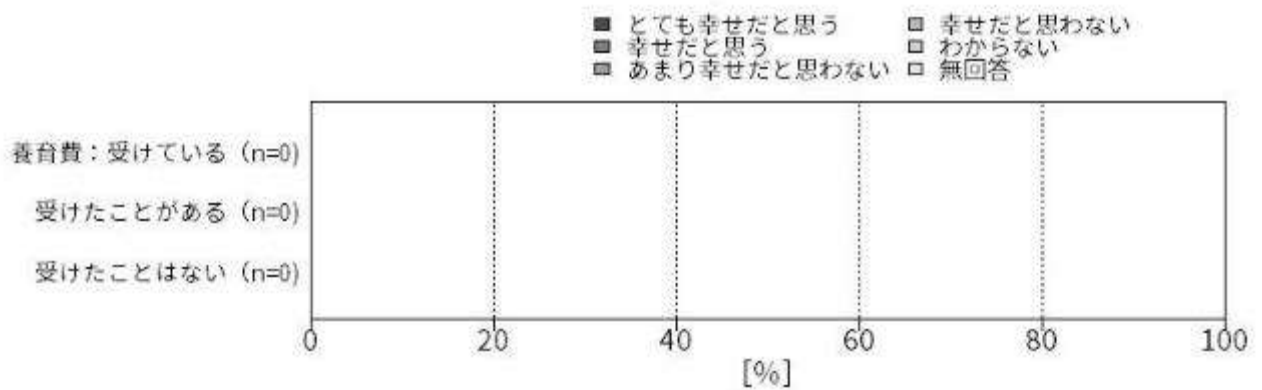
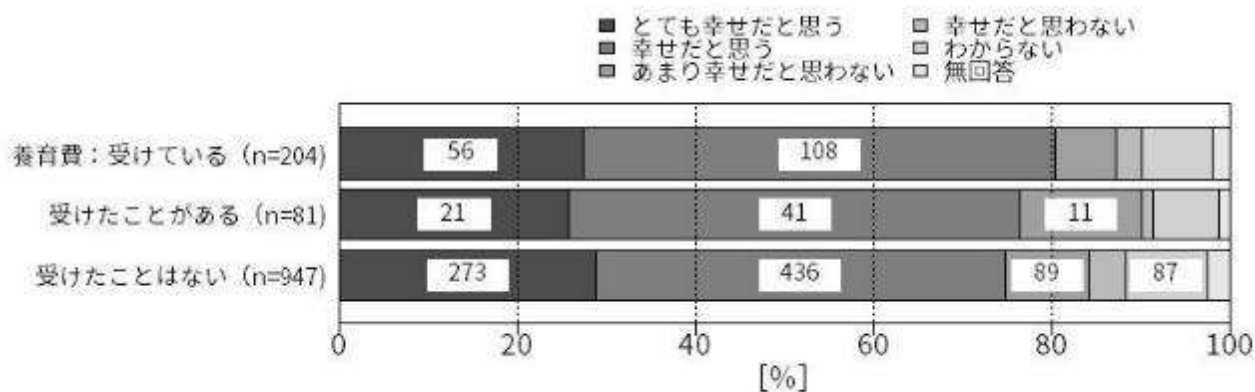


図 91. 養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う
＜父子世帯＞

いずれも回答がなかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 30-3-9×問 36-4）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

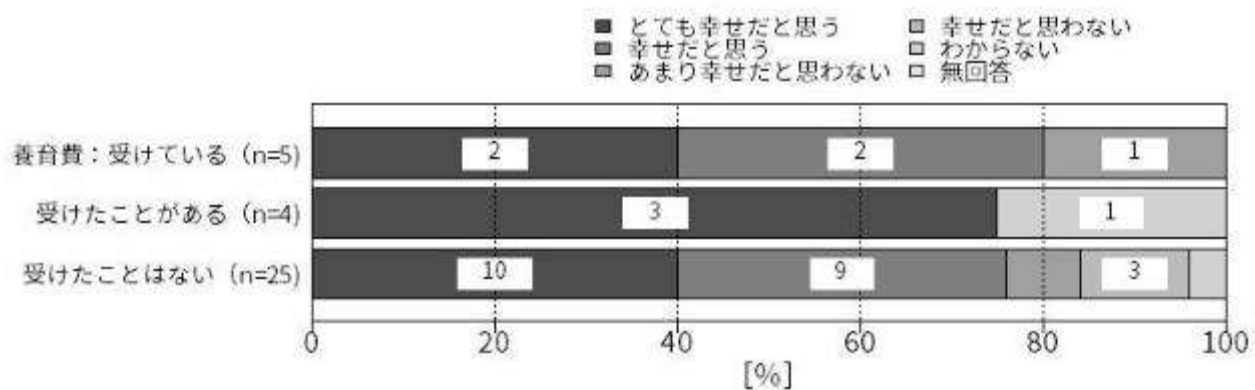
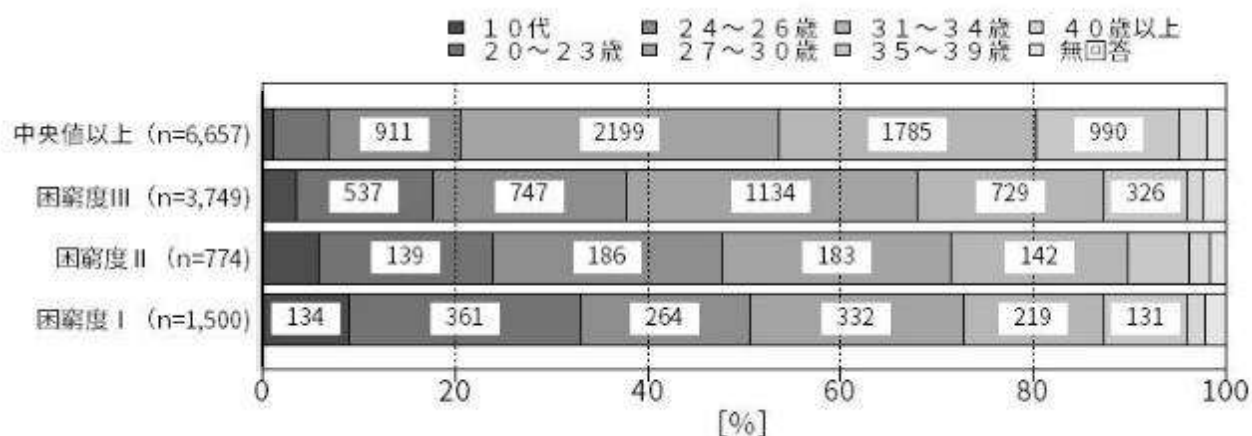


図 92. 養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う
＜母子世帯＞

養育費を受けている・受けたことのある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、はじめて親となった年齢（問 33）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

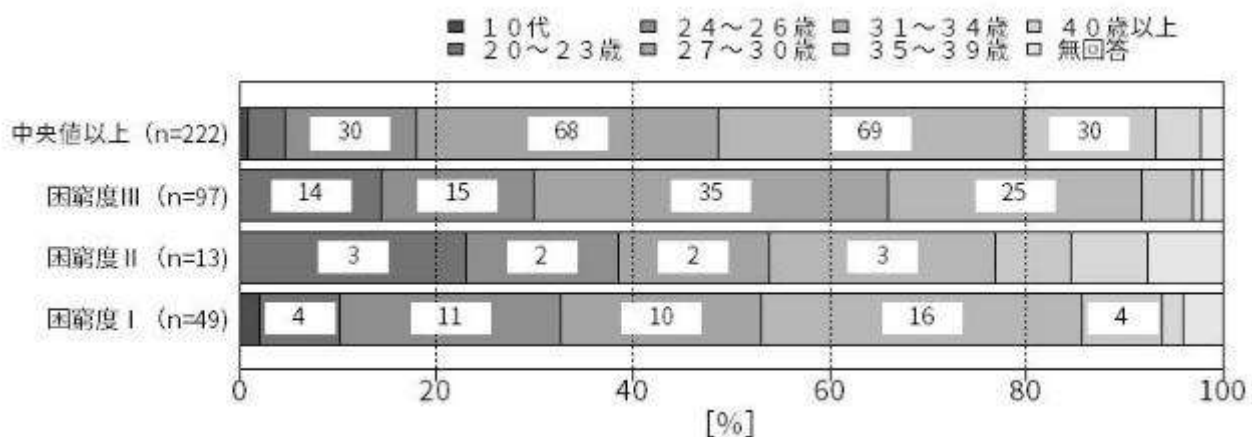


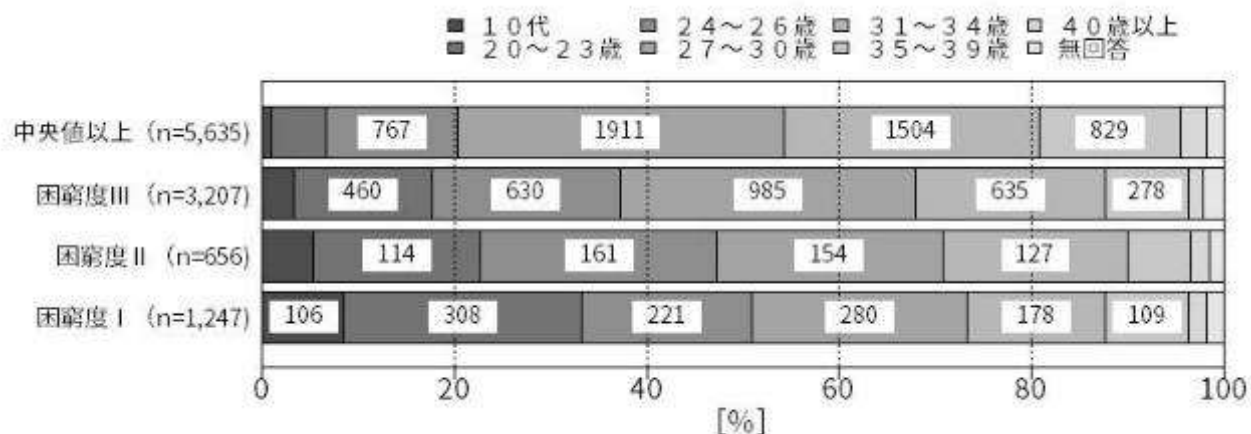
図 93. 困窮度別に見た、はじめて親となった年齢

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度Ⅰ群で10代で親となった割合は2.0%、20~23歳で親になった割合は8.2%であった。

困窮度別に見た、はじめて親となった年齢（問 33）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

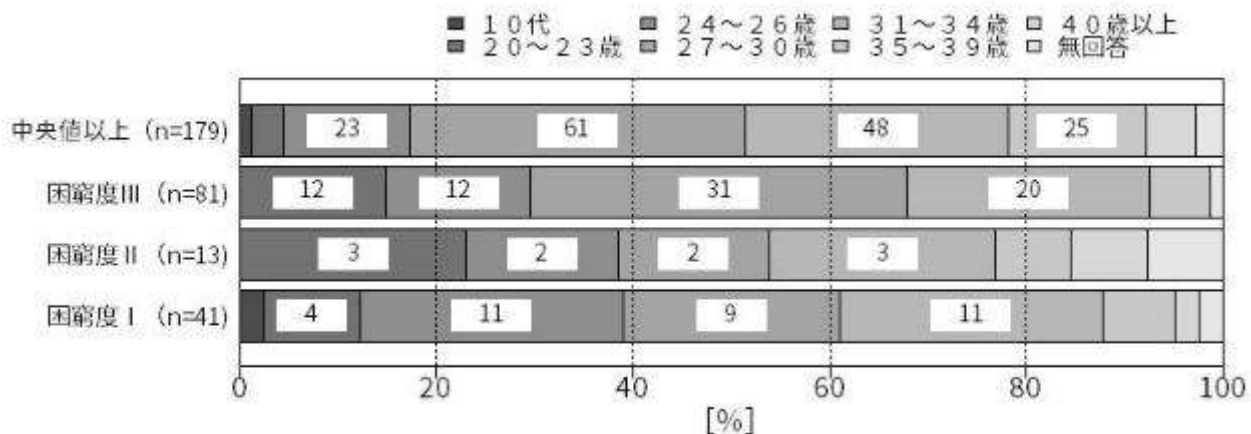


図 94. 困窮度別に見た、はじめて親となった年齢
※母親が回答者の場合に限定

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度Ⅰ群で10代で親となった割合は2.4%、20～23歳で親になった割合は9.8%であった。